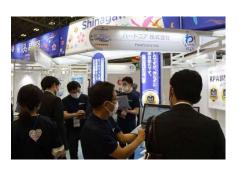
◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和 3 年度第 3·四半期

(令和3年10~12月)

Ħ		次



AI・業務自動化展 (令和3年10月27日~29日開催)

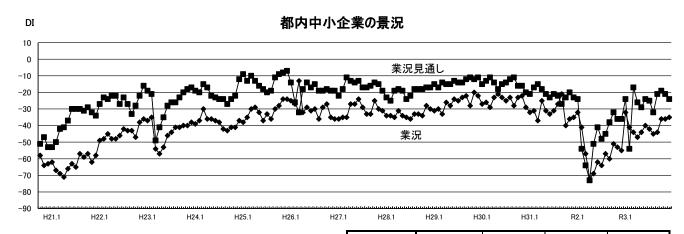
都内中小企業の景況(令和3年10~12月期)・・・・・・・・	1
品川区内中小企業の景況(令和3年10~12月期)・・・・・・	2
品川区の今期の特徴点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
製 造 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
卸 売 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
小 売 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
サービス業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
建 設 業	22
日銀短観・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
東京都と品川区の企業倒産動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
特別調査「新型コロナウイルス感染症および最低	
賃金引上げによるに影響ついて」・・・・・・	27
中小企業景況調査 比較表・転記表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32

品川区地域振興部商業・ものづくり課 調査実施機関 禁東京商エリサーチ

都内中小企業の景況(令和3年10~12月期)

業 況:全体で改善。サービス業、卸売業、小売業で大幅に改善。

見通し: すべての業種で大幅に改善の見通し。



業況 DI (季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企 業割合) は▲35 (前期は▲44) と、大幅に改善した。今 後3ヶ月間の見通しでは、今期比 11 ポイント増の▲24 と、大幅に改善する見通し。

	前 期 (R3.9)	今 期 (R3.12)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製 造 業	▲ 36	▲ 32	4	▲ 26
卸 売 業	▲ 44	▲ 33	11	▲ 21
小 売 業	▲ 58	▲ 52	6	▲ 28
サービス業	4 0	▲ 27	13	▲ 19
全 体	1 44	▲ 35	9	▲ 24

令和3年12月の都内中小企業の業況 DI は、前期から9ポイント増の▲35と、大幅に改善した。今後3ヶ月間の業況 見通しDIでは、今期比11ポイント増の▲24と、大幅に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、サービス業(▲27) は 13 ポイント増、卸売業(▲33) は 11 ポイント増、 小売業(▲52) は 6 ポイント増と、いずれも大幅に改善した。製造業(▲32) は 4 ポイント増とやや改善した。

なお、仕入価格 DI(仕入単価が「上昇」とした企業割合—「低下」とした企業割合)をみると、製造業(42)は 10 ポイント増と大幅に上昇し、卸売業(20)は 5 ポイント増、小売業(▲4)は 3 ポイント増とやや上昇した。

販売価格 DI(販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合)をみると、製造業(O) は 5 ポイント増、サービス業(▲6) は 4 ポイント増、卸売業(9) は 3 ポイント増と、いずれもやや上昇した。小売業(▲11) は前期から変動がなかった。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、全業種で改善すると見込まれている。小売業(▲28) は24ポイント増と極端に改善し、卸売業(▲21) は12ポイント増、サービス業(▲19) は8ポイント増、製造業(▲26) は6ポイント増と大幅に改善する見込みとなっている。

[注]

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○(季節調整済) D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返す D. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工した D. I値です。 修正値ともいいます。

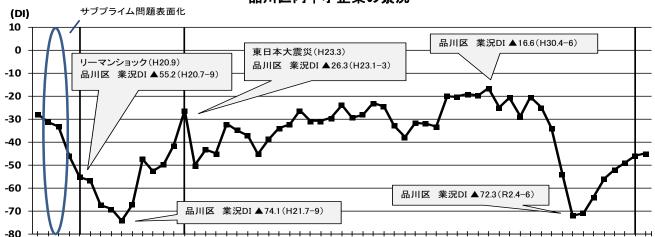
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種(例えば小売業)ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方向をみる方法です。

品川区内中小企業の景況(令和3年10~12月期)

業 況:全体の景況感はやや改善。小売業で極端に改善、製造業は大幅に悪化。 見通し:卸売業、製造業で改善、サービス業、小売業はやや悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



H20.1 H21.1 H22.1 H23.1 H24.1 H25.1 H26.1 H27.1 H28.1 H29.1 H30.1 H31.1 R2.1 R3.1 R4.1 平成 14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況 DI は平成 18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況 DI は低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月~9月期の業況 DI は▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月~6月期の業況 DI は▲72となった。

今期(令和3年10~12月期)の業況 DI は▲46 となり、引き続き厳しい状況ながらも、令和2年4月~6月期以降、6期連続で改善した。

品川区内中小企業の業況 DI

	前々期	前期	今期	今後3ヶ月間
	(R3.4~6)	(R3.7~9)	(R3.10~12)	の見通し
製造業	▲ 59	▲ 45	▲ 61	▲ 58
卸 売 業	▲39	▲49	▲ 57	▲ 46
小 売 業	▲ 69	▲ 66	▲ 44	▲ 48
サービス業	▲ 57	▲ 46	▲ 35	▲ 38
建設業	▲ 42	▲ 44	▲ 36	▲ 37
全 体	▲ 52	▲49	▲ 46	▲ 45

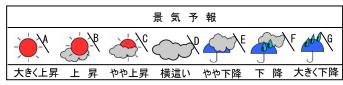
※小数点第1位を四捨五入した数値

≪最近の景況動向≫

今期の品川区内中小企業全体の業況は、やや改善した。来期(今後3ヶ月間の見通し)においては、今期並になる見通しとなっている。業種別にみると、今期は小売業で極端に改善、サービス業と建設業で大幅に改善した。卸売業と製造業では大幅に悪化した。来期は卸売業で大幅に改善、製造業でやや改善、建設業では今期並となり、サービス業と小売業ではやや悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、12月(速報)は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇となった。製造工業生産予測調査では、1月は前月比5.2%の上昇、2月は2.2%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている12月の消費者物価指数(2015年=100)は100.1(中分類総合指数)となっており、前月比(季節調整値)で0.1%上昇した。

品川区の今期の特徴点

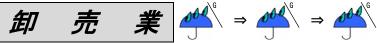




業況はやや改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは前期並となった。



業況は低調感がかなり強まった。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向が物ででいまり、原材料価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は不足感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがかなり増した。



業況は低調感がかなり強まった。売上額は前期並となり、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格、 仕入価格はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰感がやや改善した。資金繰りは厳しさがかなり 増した。

小 売 業 → ** → **

業況は極端に改善した。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

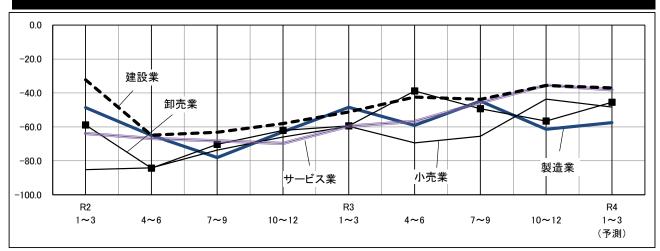


業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小した。料金価格は前期並となり、材料価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

建 設 業

業況はかなり改善した。売上額、施工高はともに減少幅がかなり縮小した。収益は前期並となった。請 負価格は下降傾向がかなり強まり、材料価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰から品薄に転じ た。資金繰りは前期並となった。

各業種別業況の動き(実績)と来期の予測





()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 45 \rightarrow \triangle 61$) は低調感がかなり強まった。売上額 ($\triangle 38 \rightarrow \triangle 50$)、収益 ($\triangle 40 \rightarrow \triangle 46$) はともに減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は29ポイント下回っている。

価格•在庫動向

販売価格 (\triangle 15 \rightarrow \triangle 12) は下降傾向がやや弱まり、原材料価格 (50 \rightarrow 71) は上昇傾向が極端に強まった。在庫 (\triangle 10 \rightarrow \triangle 3) は不足感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\triangle 29 \rightarrow \triangle 39$) は厳しさがかなり増し、借入難易度 ($\triangle 5 \rightarrow \triangle 3$) はやや改善した。今期借入れをした企業は 24%で前期の 29%から 5 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

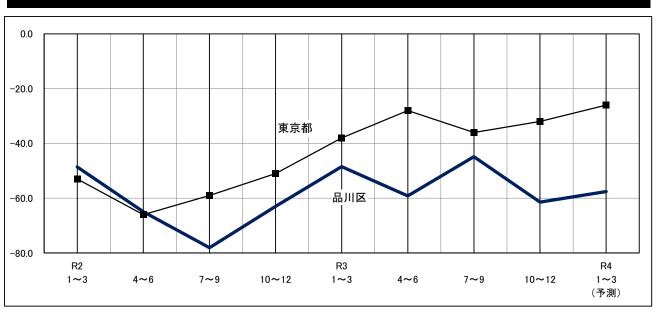
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が70%、2位は「原材料高」が50%、3位は「工場・機械の狭小・老朽化」が29%となった。2位の「原材料高」は、令和2年1~3月期以降で最も高い割合となっている。(35ページ参照)

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が53%、2位は「経費を節減する」が42%、3位は「新製品・技術を開発する」が20%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

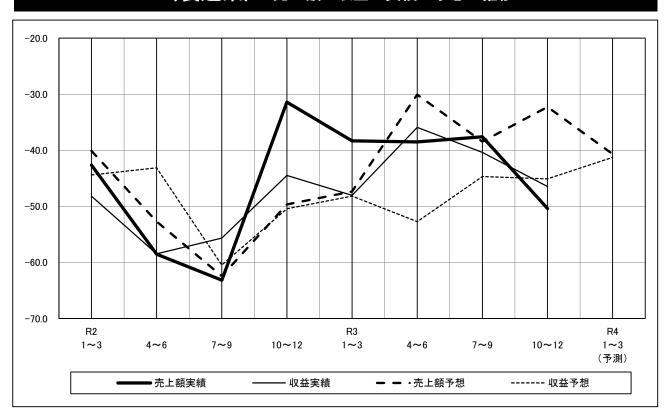
来期の見通し

業況(△61→△58)はやや改善する見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅がやや縮小すると予想されている。

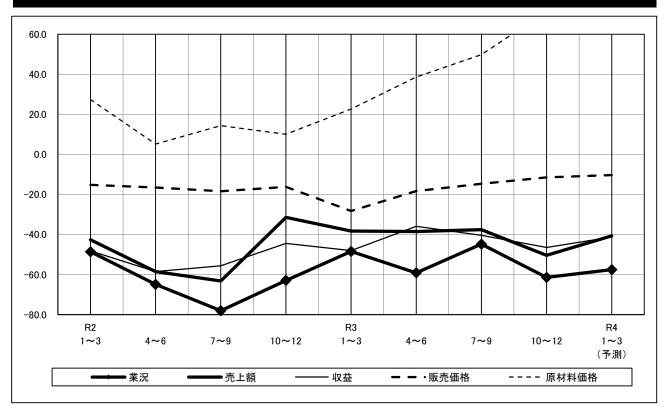
〈製造業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



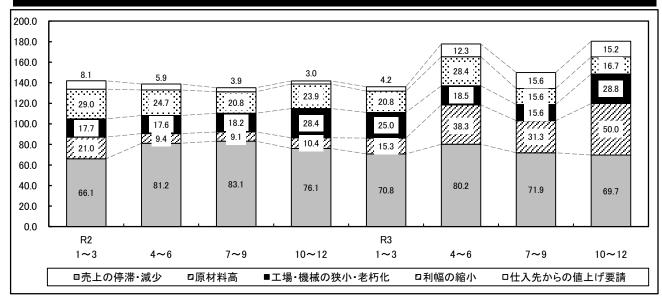
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き(実績)と来期の予測

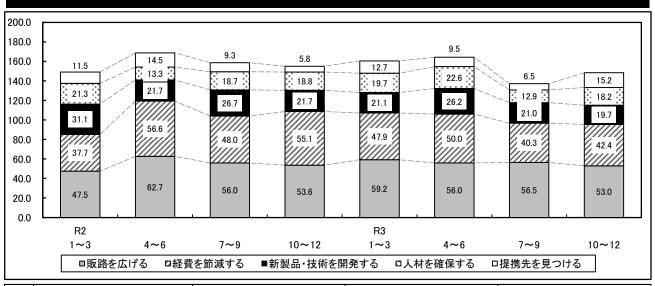


〈製造業〉 経営上の問題点(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	70.8 %	売上の停滞・減少	80.2 %	売上の停滞・減少	71.9 %	売上の停滞・減少	69.7 %
第2位	工場・機械の狭小・老朽化	25.0 %	原材料高	38.3 %	原材料高	31.3 %	原材料高	50.0 %
第3位	利幅の縮小	20.8 %	利幅の縮小	28.4 %	利幅の縮小	15.6 %	工場・機械の狭小・老朽化	28.8 %
					仕入先からの値上げ要請	15.6 %		
					工場・機械の狭小・老朽化	15.6 %		
第4位	同業者間の競争の激化	16.7 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.5 %	人手不足	9.4 %	利幅の縮小	16.7 %
					同業者間の競争の激化	9.4 %		
					人件費の増加	9.4 %		
第5位	原材料高	15.3 %	仕入先からの値上げ要請	12.3 %	合理化の不足	7.8 %	仕入先からの値上げ要請	15.2 %

〈製造業〉 重点経営施策(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	販路を広げる	59.2 %	販路を広げる	56.0 %	販路を広げる	56.5 %	販路を広げる	53.0 %
第2位	経費を節減する	47.9 %	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	40.3 %	経費を節減する	42.4 %
第3位	情報力を強化する	21.1 %	新製品・技術を開発する	26.2 %	新製品・技術を開発する	21.0 %	新製品・技術を開発する	19.7 %
	新製品・技術を開発する	21.1 %						
第4位	人材を確保する	19.7 %	人材を確保する	22.6 %	情報力を強化する	17.7 %	人材を確保する	18.2 %
第5位	教育訓練を強化する	18.3 %	情報力を強化する	19.0 %	人材を確保する	12.9 %	提携先を見つける	15.2 %
					教育訓練を強化する	12.9 %		

製造業 業種別動向

(1) 電気機械器具

業況(\triangle 46→ \triangle 57)は低調感がかなり強まった。売上額(\triangle 59→ \triangle 26)、収益(\triangle 55→ \triangle 29)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(\triangle 9→13)は上昇に転じ、原材料価格(57→61)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(\triangle 19→ \triangle 33)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(2)一般機械器具・金型

業況($\triangle 27 \rightarrow \triangle 29$)は低調感がやや強まった。売上額($\triangle 1 \rightarrow \triangle 18$)は減少幅がかなり拡大し、収益($\triangle 17 \rightarrow \triangle 19$)は減少幅がやや拡大した。販売価格($4 \rightarrow \triangle 5$)は上昇から下降に転じ、原材料価格($66 \rightarrow 69$)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り($\triangle 25 \rightarrow \triangle 23$)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(3) 出版 • 印刷 • 同関連産業

業況 (\triangle 67→ \triangle 79) は低調感がかなり強まった。売上額 (\triangle 38→ \triangle 66) は減少幅が極端に拡大し、収益 (\triangle 34→ \triangle 53) は減少幅がかなり拡大した。販売価格 (\triangle 5→ \triangle 21) は下降傾向がかなり強まり、原材料価格 (17→59) は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り (\triangle 44→ \triangle 47) は厳しさがやや増した。

来期の業況はやや改善すると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

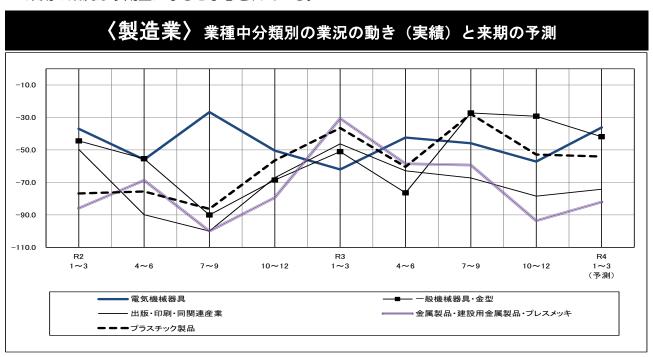
業況 (\triangle 59→ \triangle 94) は低調感が極端に強まった。売上額 (\triangle 72→ \triangle 94) は減少幅が極端に拡大し、収益 (\triangle 71→ \triangle 88) は減少幅がかなり拡大した。販売価格 (\triangle 39→ \triangle 20) は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格 (34→68) は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り (\triangle 47→ \triangle 71) は厳しさが極端に増した。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況 ($\triangle 28 \rightarrow \triangle 53$) は低調感が極端に強まった。売上額 ($\triangle 31 \rightarrow \triangle 54$) は減少幅が極端に拡大し、収益 ($\triangle 34 \rightarrow \triangle 48$) は減少幅がかなり拡大した。販売価格 ($\triangle 27 \rightarrow \triangle 16$) は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格 ($82 \rightarrow 100$) は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り ($\triangle 9 \rightarrow \triangle 19$) は厳しさがかなり増した。

来期の業況は今期並になると予想されている。



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

- 1. 部品の不足、供給難。高値推移。
- 2. 今期は季節商品が例年と同じく増加。来期はシーズンオフに入っていくので、注文減少となる。
- 3. 受注増である。半導体関連が考えられる。
- 4. 受注は増加してきているが、電気関係の部品が 入らないため、顧客への納期延長が余儀なくさ れる。

<一般機械器具・金型>

- 1. 受注が減少している。営業活動に力を入れて頑張る。
- 2. 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、エンドユーザーの投資控えが売上減少の一因となっている。
- 3. 新型コロナウイルス感染症、客先の投資予定、 受注につながる情報入手が困難。メール、WEB 会議などは1テーマで終わってしまうため、話 題の幅が広げられない。展示会での新規種まき などもできず、影響が長引いている。追い打ち をかけるように電気電子部品調達の回復が見込 めず、現在の納期も延びており、売上への影響 も大きい。海外売上も激減している。
- 4. 新型コロナウイルス感染症の影響はあまりなく、売上、受注は順調です。人材も2名くらい増 やし、今期を乗り越えたいと思います。
- 5. 注文減少傾向で、来期は不明。
- 6. 原材料の高騰により収益を圧迫。
- 7. 受注増により、内製では追いつかず協力企業に依頼しているが、発注に苦労している。内製化率を高めるため、最先端工作機械を導入したいが、現在の地では工場が狭小であり、導入できないため困っている。品川区内での移転を考えている。
- 8. 後継者に悩んでいる。

<出版・印刷・同関連産業>

- 1. 売上が新型コロナウイルス感染症により減少 している。単価も下げられる所もあり、とても 厳しい。
- 2. 緊急事態宣言が解除されて少しは持ち直すか と考えていたが、またオミクロン株が出てき て、回復にはほど遠いといったところ。
- 3. 原材料(用紙、インク、電力、その他資材)高により、収益が減少している。
- 4. 需要が減り、減収が続いている。

<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

- 1. 仕入先から値上げの話が多く、本当に困っています(材料不足で仕方ないかもしれない)。
- 2. 原材料の価格が上がっており、利益率が下がっている。
- 3. 受注先の仕事が減少し、経営が困難。このままでは廃業を覚悟しなければならない状態です。
- 4. やや受注増。
- 5. 親企業が部品の調達不足のため減産しており、影響を受けている。回復時期の見通しが難しい。

くプラスチック製品>

- 1. 低調である。
- 2. 現在のところ景気状況が良くなく、全体に仕事量が大きく落ち込んでいる。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、以前のように回復してくれると思いたいです。高齢だが、今は社会、会社のために、少しでも貢献できればと思っております。

卸売業







()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 49 \rightarrow \triangle 57$) は低調感がかなり強まった。売上額 ($\triangle 41 \rightarrow \triangle 40$) は前期並となり、収益 ($\triangle 49 \rightarrow \triangle 42$) は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は24ポイント下回っている。

価格•在庫動向

販売価格($1\rightarrow11$)、仕入価格($35\rightarrow54$)はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫($11\rightarrow9$)は過剰感がやや改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\triangle 22 \rightarrow \triangle 32$) は厳しさがかなり増し、借入難易度 ($\triangle 11 \rightarrow \triangle 10$) は前期並となった。今期借入れをした企業は 34%で前期から変動はなかった。

経営上の問題点・重点経営施策

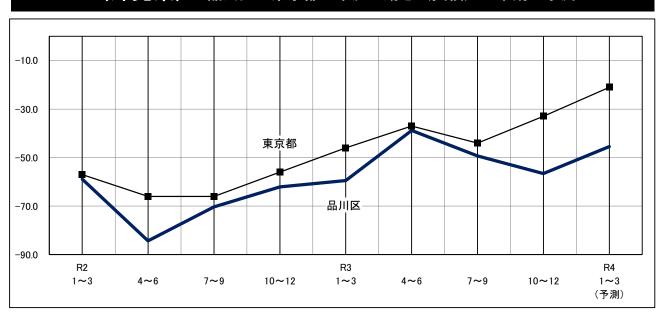
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が65%、2位は「利幅の縮小」が36%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が31%となった。前期5位だった「仕入先からの値上げ要請」が、今期3位と順位を上げ、前期3位だった「取引先の減少」は、今期5位と順位を下げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が65%、2位は「経費を節減する」が38%、3位は「情報力を強化する」が30%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

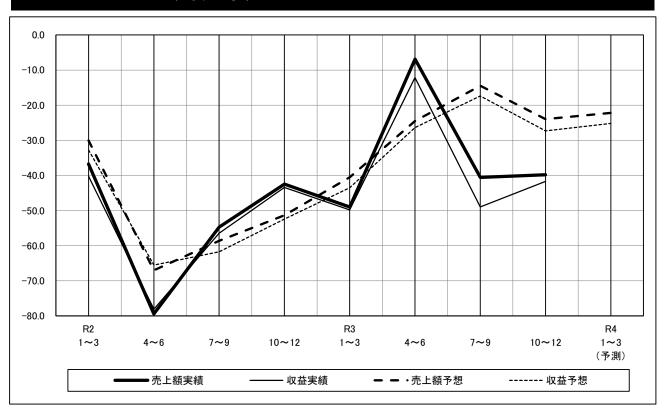
来期の見通し

業況 (△57→△46) はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

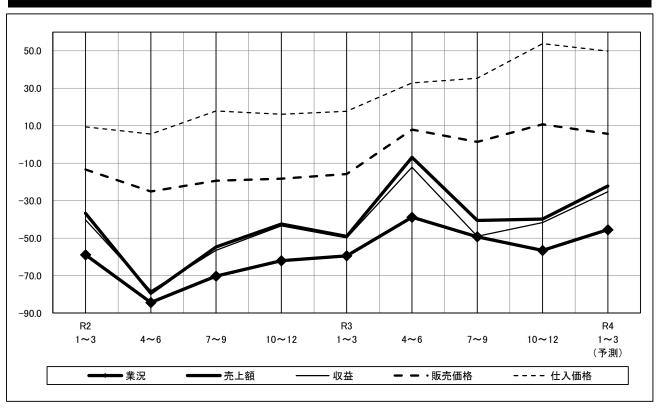
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



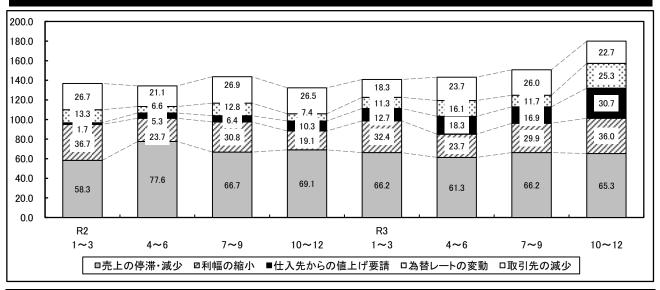
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き(実績)と来期の予測

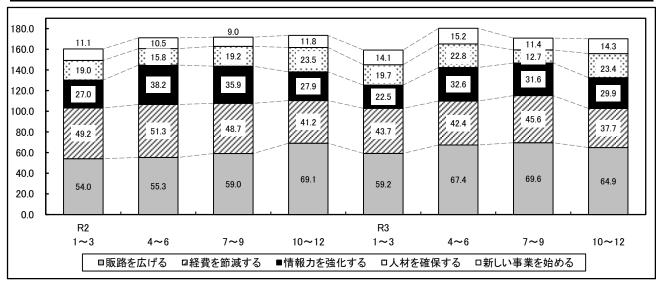


〈卸売業〉経営上の問題点(%)



	R3.1~3月期			R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期				
第1位	売上の停滞・減少	66.2	%	売上の停滞・減少	61.3	%	売上の停滞・減少	66.2	%	売上の停滞・減少	65.3	%
第2位	利幅の縮小	32.4	%	利幅の縮小	23.7	%	利幅の縮小	29.9	%	利幅の縮小	36.0	%
				取引先の減少	23.7	%						
第3位	同業者間の競争の激化	21.1	%	同業者間の競争の激化	21.5	%	取引先の減少	26.0	%	仕入先からの値上げ要請	30.7	%
第4位	人手不足	19.7	%	仕入先からの値上げ要請	18.3	%	同業者間の競争の激化	18.2	%	為替レートの変動	25.3	%
第5位	取引先の減少	18.3	%	為替レートの変動	16.1	%	仕入先からの値上げ要請	16.9	%	取引先の減少	22.7	%

〈卸売業〉重点経営施策(%)

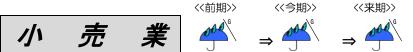


	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期	R3.7~9月期		
第1位	販路を広げる	59.2 %	販路を広げる	67.4 %	販路を広げる	69.6 %	販路を広げる	64.9 %
第2位	経費を節減する	43.7 %	経費を節減する	42.4 %	経費を節減する	45.6 %	経費を節減する	37.7 %
第3位	情報力を強化する	22.5 %	情報力を強化する	32.6 %	情報力を強化する	31.6 %	情報力を強化する	29.9 %
第4位	品揃えを充実する	21.1 %	人材を確保する	22.8 %	人材を確保する	12.7 %	人材を確保する	23.4 %
第5位	人材を確保する	19.7 %	新しい事業を始める	15.2 %	新しい事業を始める	11.4 %	新しい事業を始める	14.3 %

卸売業 業種別コメント

- 1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、宝飾業界は打撃を受けました。状況の改善までは時間が必要です。
- 2. 地価の高騰により、不動産の流通が悪くなっている。
- 3. 昨年より売上は減少したが、利益は出た。10月からの仕入価格高騰により廃番が増えて、先行きが不安。
- 4. 原材料の高騰により、商品の原価が上がっているが、販売価格に反映できていない。
- 5. 世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、商品本体や物流費などの海外商品輸入コストが値上げされた。円安と相まって海外輸入商品の利益率がここ数か月で急激に減少傾向となり、今後は収益減少も予想される。
- 6. 主要取引先からの受注は安定しているが、店の客足が減少している。
- 7. 新型コロナウイルス感染症で観光業界、飲食店 などの需要が減少し、売上、収益が減少してい る。為替の影響でコスト高になっている。
- 8. 都心企業への出社が減り、周辺飲食店での消費 は今後も増加は見込めない。そのため都心でテ ナント料と見合わない酒販店の閉店は増えると 思われ、仕入も減る見込み。
- 9. 飲食店での酒類提供は再開したものの、弊社ポートフォリオのワインの需要はまだ回復してこない。以前の取引先数も減少している。
- 10. 新型コロナウイルス感染症の感染者数減少により売上増加、合わせて利益増加。第6波が来なければ良い。
- 11. 従業員の平均年齢が上がり、将来を担う人材がいないため、どうするか決める必要がある。技術を教え込む若年層がいないため、近々技術力が失われる。お得意様もいるが、今から担い手を育成するのも難しい。
- 12. 需要が増え微増収、微増益だが先が読みにくい。
- 13. 大きな変化はありません。
- 14. 将来の不確実性。
- 15. ニーズが多様化しており、その対応に追われて 忙しい。
- 16. 海外での引き合いが減少している。また国内の販売は減少の傾向があり、来年後半が心配。
- 17. 主要取引先から安定して受注を確保している。
- 18. 原油高による仕入原材料の高騰(減益傾向)。
- 19. 長引く不況に加えコロナ禍による取引先の減少が続き、一部好調な企業があるものの、厳しい状況はしばらく改善しないと思われる。

- 20. 原材料の納期に時間がかかり困っている。色々なメーカーが値上げしている。
- 21. 仕入先から値上げ要請や通知が相次いでいる。 年間単価契約をしている販売先もあり、収益が 悪化している。新年度より単価改定をお願いし ており、どこまで当方の要請を受け入れてもら えるかにかかっている。
- 22. 再生エネルギー関連の需要が増えて増収増益。
- 23. 新型コロナウイルス感染症よりも、世界的な半導体供給不足による注文製品の入荷の大幅な遅れのほうが、今は重要な問題。解消の見通しが立っていない。
- 24. 大手海外工場の生産が回復しないため、国内での製品生産も減少し、売上も減少気味であるが、国内半導体メーカー向けの製品の売上は増加傾向にある。
- 25. 需要が増えているが集中しているため、仕事を断っている。悪循環である。
- 26. 主要取引先から安定して受注を確保している。
- 27. 人手不足。既存社員に負荷がかかっており、早急 な人員確保が望まれる。
- 28. 原油の高騰と円安により仕入商品の値上げが強 行されている。新型コロナウイルス感染症で売 上が下がっている中での値上交渉をせざるを得 ない状況です。
- 29. 新型コロナウイルス感染症による需要の戻りが 遅いため減収減益が続いている。配送費の値上 げや、海外メーカーの値上げ分を国内販売価格 に転嫁できず利益圧迫。テレワークの浸透によ りオフィス面積が縮小しニーズの減少。店舗、商 業施設の改装等が中止や延期になり受注減少。
- 30. 原材料コストの値上げ要請が続いている。アフターコロナの回復は全くなく、停滞感が昨年よりもあり、海外輸送の問題、オミクロン株の動向に不安がある。
- 31. 材料値上げに伴う、各種交渉が難航している。
- 32. 主要取引先の半導体入荷が遅れているため、売上が減少している。
- 33. 売上減少の原因は不明。
- 34. 新型コロナウイルス感染症で、プロジェクトが 遅延している。
- 35. 商品の卸先であるエスティックサロンの来客数が未だに回復できていないため、商品流通が滞っている。人流の回復とともに、サロンの活性化に向けた活動をしていく。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 66 \rightarrow \triangle 44$) は極端に改善した。売上額 ($\triangle 67 \rightarrow \triangle 27$)、収益 ($\triangle 61 \rightarrow \triangle 28$) はともに減少幅が極端に縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は8ポイント上回っている。

価格•在庫動向

販売価格 ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 1$) は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格 ($19 \rightarrow 51$) は上昇傾向が極端に強まった。 在庫 ($5 \rightarrow 22$) は過剰感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り (\triangle 38→ \triangle 30) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 (\triangle 10→ \triangle 8) は前期並となった。今期借入れをした企業は 54%で前期の 46%から 8 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

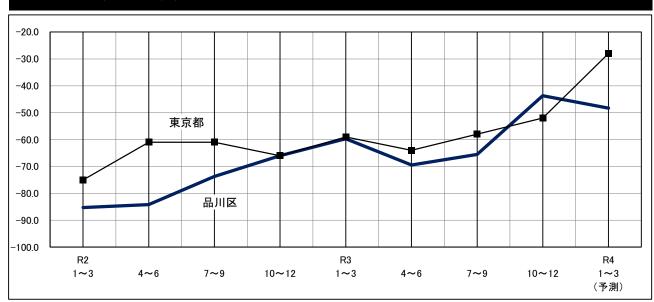
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が70%、2位は「人件費の増加」が24%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が22%となった。前期2位だった「天候の不順」が、今期6位以下と順位を下げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が61%、2位は「仕入先を開拓・選別する」が29%、3位は「品揃えを改善する」と「人材を確保する」が26%となった。前期4位だった「仕入先を開拓・選別する」が今期2位、前期5位だった「人材を確保する」が今期3位と、それぞれ順位を上げた。

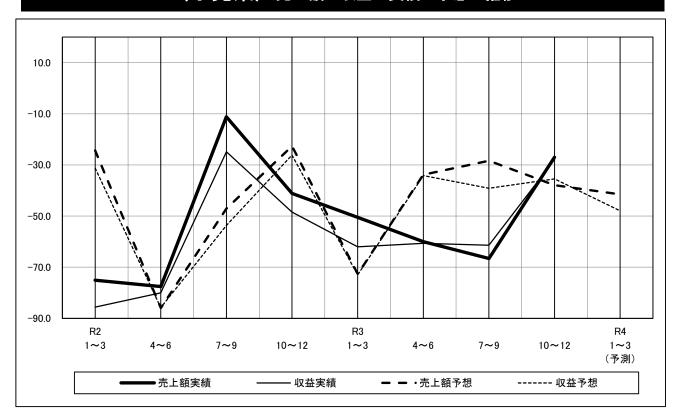
来期の見通し

業況 (△44→△48) は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅が極端に拡大すると予想されている。

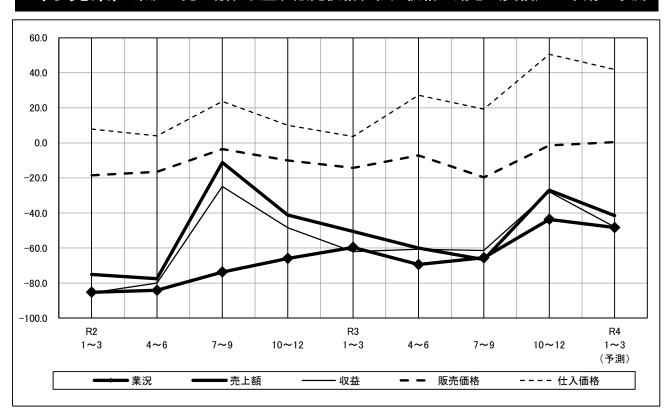
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



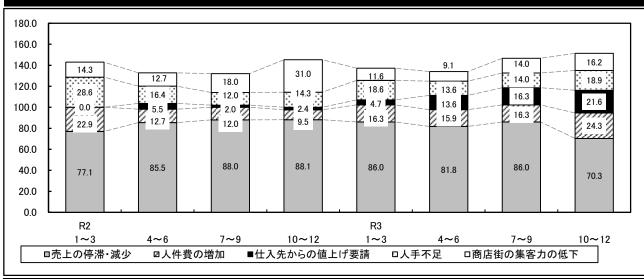
〈小売業〉売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き(実績)と来期の予測

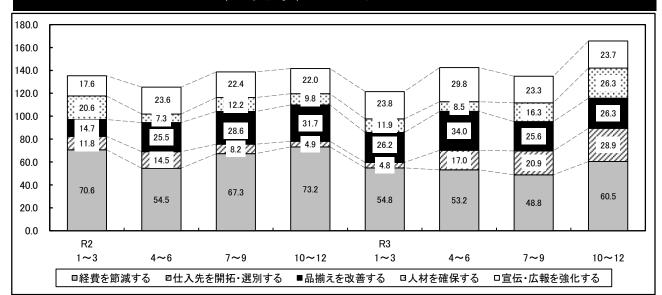


〈小売業〉経営上の問題点(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期	R3.7~9月期		
第1位	売上の停滞・減少	86.0 %	売上の停滞・減少	81.8 %	売上の停滞・減少	86.0 %	売上の停滞・減少	70.3 %
第2位	利幅の縮小	25.6 %	その他	20.5 %	天候の不順	18.6 %	人件費の増加	24.3 %
第3位	人手不足	18.6 %	同業者間の競争の激化	15.9 %	利幅の縮小	16.3 %	仕入先からの値上げ要請	21.6 %
			人件費の増加	15.9 %	仕入先からの値上げ要請	16.3 %		
					人件費の増加	16.3 %		
					その他	16.3 %		
第4位	人件費の増加	16.3 %	人手不足	13.6 %	人手不足	14.0 %	人手不足	18.9 %
			仕入先からの値上げ要請	13.6 %	取引先の減少	14.0 %		
			取引先の減少	13.6 %	商店街の集客力の低下	14.0 %		
第5位	同業者間の競争の激化	11.6 %	利幅の縮小	11.4 %	同業者間の競争の激化	11.6 %	商店街の集客力の低下	16.2 %
	取引先の減少	11.6 %						
	商店街の集客力の低下	11.6 %						

〈小売業〉重点経営施策(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	経費を節減する	54.8 %	経費を節減する	53.2 %	経費を節減する	48.8 %	経費を節減する	60.5 %
第2位	品揃えを改善する	26.2 %	品揃えを改善する	34.0 %	品揃えを改善する	25.6 %	仕入先を開拓・選別する	28.9 %
第3位	宣伝・広報を強化する	23.8 %	宣伝・広報を強化する	29.8 %	宣伝・広報を強化する	23.3 %	品揃えを改善する	26.3 %
							人材を確保する	26.3 %
第4位	新しい事業を始める	21.4 %	新しい事業を始める	27.7 %	仕入先を開拓・選別する	20.9 %	宣伝・広報を強化する	23.7 %
第5位	店舗・設備を改装する	14.3 %	売れ筋商品を取扱う	23.4 %	新しい事業を始める	16.3 %	新しい事業を始める	15.8 %
	営業時間を延長する	14.3 %			人材を確保する	16.3 %	店舗・設備を改装する	15.8 %
	売れ筋商品を取扱う	14.3 %					売れ筋商品を取扱う	15.8 %

小売業 業種別動向

(1)飲食料品

業況(\triangle 32 \rightarrow \triangle 22)はかなり改善した。売上額(\triangle 43 \rightarrow \triangle 22)は減少幅が極端に縮小し、収益(\triangle 35 \rightarrow \triangle 22)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(\triangle 16 \rightarrow \triangle 5)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(25 \rightarrow 69)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(\triangle 35 \rightarrow \triangle 40)は厳しさがやや増した。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(2) 飲食店

業況 ($\triangle 88 \rightarrow \triangle 49$) は極端に改善した。売上額 ($\triangle 75 \rightarrow \triangle 19$)、収益 ($\triangle 76 \rightarrow \triangle 22$) はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格 ($\triangle 11 \rightarrow 8$) は上昇に転じ、仕入価格 ($35 \rightarrow 64$) は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り ($\triangle 30 \rightarrow \triangle 31$) は前期並となった。

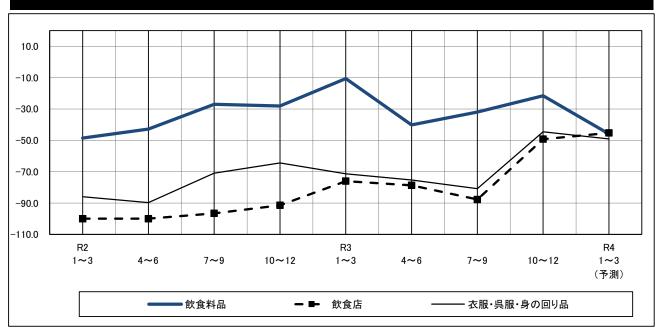
来期の業況はやや改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況 (\triangle 81→ \triangle 45) は極端に改善した。売上額 (\triangle 77→ \triangle 35)、収益 (\triangle 67→ \triangle 34) はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格 (\triangle 31→ \triangle 10) は下降傾向が極端に弱まり、仕入価格 (\triangle 2→16) は上昇に転じた。資金繰り (\triangle 48→ \triangle 18) は厳しさが極端に和らいだ。

来期の業況は低調感がやや強まると予想されている。

〈小売業〉 業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

<飲食料品>

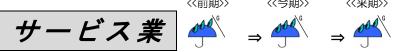
- 顧客とのコミュニケーションを図り売上を維持している。
- 2. 輸入原料肉の高騰により、赤字が続いている。 人を解雇できず経費が圧迫され、儲けが全く 出ないため、赤字続き。新しい客先を見つけ て店舗を増やさなければならず、切迫してい る。
- 3. 来店者は減少している。
- 4. 売上の減少が大きい。

く飲食店>

- 1. 飲食店を2店舗やっていますが、10月くらいから忙しくなってきました。都心ではなく住宅地のため、地域の方がどんどん戻ってきている印象です。
- 2. 材料費(仕入費)、人件費の高騰に加え、人手 不足が深刻。
- 3. 会社関係のお客様の減少により売上減少。商品の無駄も多くなり、利幅の減少が多い。
- 4. 新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いて、少しずつ客足が戻ってきた。
- 5. 経費削減に努めているが、材料費や仕入費用 が上がっている。
- 6. 仕入費用の値上がり、最低賃金の上昇。
- 7. 人手不足。
- 8. 時短営業が約1年続き、夜間の売上回復が課題。
- 9. 新型コロナウイルス感染症拡大で、出勤者の 減少による影響を受けた。やや回復したもの の、消費者の生活パターンの変化は続いてお り、これからもまだ朝と夜の客の低迷は続く と思う。

<衣服・呉服・身の回り品>

- 1. 新型コロナウイルス感染症の新種オミクロン 株の出現で、購買意欲が衰えている。不透明 な要素が多く、小売店に対する状況は厳しい ものがある。
- 2. 来店客は増えているが、ベトナム等で生産している商品が足りていない。メーカーの販売店の選別が厳しくなり、売れ筋の商品がなくなっている。
- 3. 新型コロナウイルス感染症による客先売上減。原油高、輸送費等のコストアップなどによる経費増大。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 46 \rightarrow \triangle 35$) はかなり改善した。売上額 ($\triangle 39 \rightarrow \triangle 21$)、収益 ($\triangle 38 \rightarrow \triangle 26$) はともに減 少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は8ポイント下回っている。

価格•在庫動向

料金価格(△4→△4)は前期並、材料価格(19→24)は上昇傾向がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△23→△16)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(2→9)は容易さがかなり増した。 今期借入れをした企業は22%で前期の28%から6ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

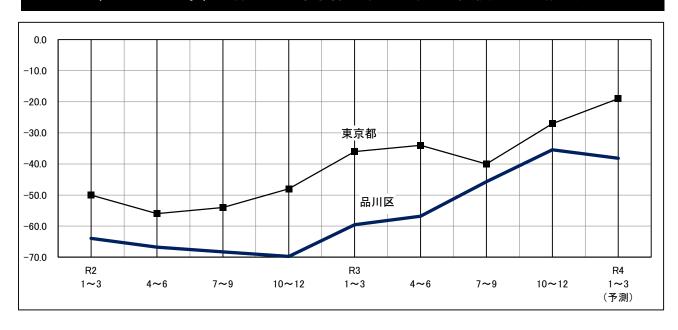
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が52%、2位は「人手不足」が43%、3位は「人件費の増加」が30%となった。前期4位だった「人件費の増加」が、今期3位と順位を上げ、令和2年1~3月期以降で最も高い割合となっている。(41ページ参照)

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が41%、2位は「販路を広げる」が40%、3位は「経費を節減する」が37%となった。前期2位だった「人材を確保する」が今期1位、前期1位だった「販路を広げる」が今期2位と順位が入れ替わったが、上位3項目に変動はなかった。

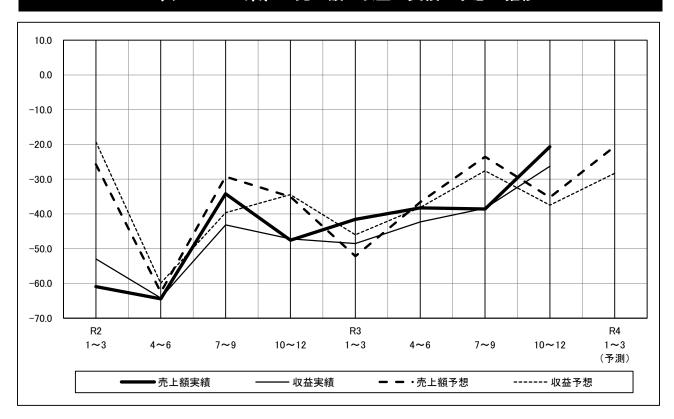
来期の見通し

業況 (△35→△38) は低調感がやや強まる見込み。売上額は今期並となり、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

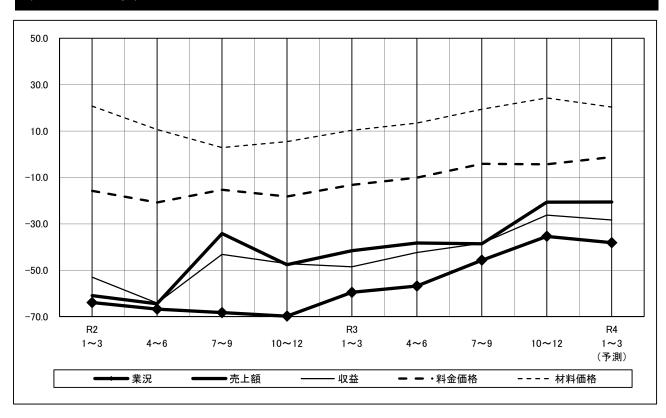
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



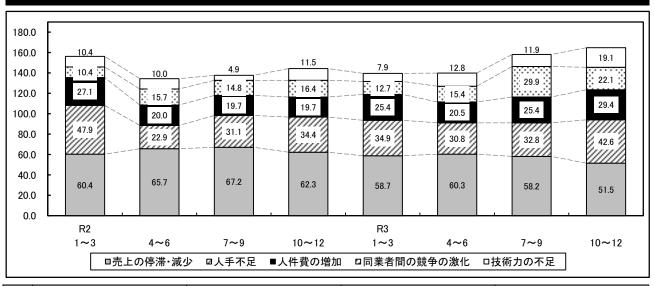
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き(実績)と来期の予測

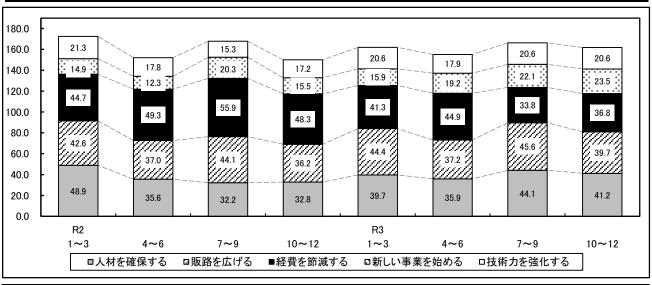


〈サービス業〉経営上の問題点(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	58.7 %	売上の停滞・減少	60.3 %	売上の停滞・減少	58.2 %	売上の停滞・減少	51.5 %
第2位	人手不足	34.9 %	人手不足	30.8 %	人手不足	32.8 %	人手不足	42.6 %
第3位	人件費の増加	25.4 %	人件費の増加	20.5 %	同業者間の競争の激化	29.9 %	人件費の増加	29.4 %
第4位	利幅の縮小	22.2 %	同業者間の競争の激化	15.4 %	人件費の増加	25.4 %	同業者間の競争の激化	22.1 %
第5位	取引先の減少	17.5 %	利幅の縮小	14.1 %	材料価格の上昇	13.4 %	技術力の不足	19.1 %

〈サービス業〉 重点経営施策(%)

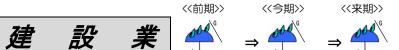


	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	販路を広げる	44.4 %	経費を節減する	44.9 %	販路を広げる	45.6 %	人材を確保する	41.2 %
第2位	経費を節減する	41.3 %	販路を広げる	37.2 %	人材を確保する	44.1 %	販路を広げる	39.7 %
第3位	人材を確保する	39.7 %	人材を確保する	35.9 %	経費を節減する	33.8 %	経費を節減する	36.8 %
第4位	技術力を強化する	20.6 %	新しい事業を始める	19.2 %	新しい事業を始める	22.1 %	新しい事業を始める	23.5 %
			教育訓練を強化する	19.2 %				
第5位	新しい事業を始める	15.9 %	技術力を強化する	17.9 %	技術力を強化する	20.6 %	技術力を強化する	20.6 %

サービス業 業種別コメント

- 新型コロナウイルス感染症が落ち着くまで、 業績は元に戻らない。
- 2. 極めて景況は悪化した。新型コロナウイルス 感染症によるイベント等の自粛が大きく影響。
- 3. クライアントの数が減った。
- 4. 来店者が増え、増収増益。
- 5. 新型コロナウイルス感染症からの回復は全く 不十分。お客様が減少したまま。
- 6. 経営する2つの法人を1つに絞り、1つの工場を賃貸物件とした事で本業以外での収益が上がるようになり、資金繰り、経営上の無駄が改善され、とても安定した状態にすることができた。次は事業継承を考えたい。
- 7. 仕入費用がアップしている。
- 8. 新規事業参入者が増え、競争が激化している。
- 9. 人材不足により仕事を増やせない。
- 10. 来店数は少しずつ増加傾向にあるが、飲食等での求人が増加し人手不足となっている。
- 11. 新型コロナウイルス感染症の影響による得意 先の苦境が、連鎖している。
- 12. 最低賃金が上がっても売上が上がらない。毎年の賃上げは大変です。
- 13. 新型コロナウイルス感染症で販路拡大は難しいが、従来の取引先との連携を充実して一進 ー退の状態。
- 14. 10月以降、案件が増加してきている。
- 15. 同業者の競合と、材料費や仕入費用の値上が り。
- 16. 委託業務契約において、物価高、人件費高になかなか対応してもらえない。
- 17. 全体的に客先の数が減った。
- 18. 2022 年 4 月までは売上高、収益とも順調に 予測できるが、その先が不透明になっている。 また人材の採用、従業員の高齢化が問題になってきている。
- 19. 新型コロナウイルス感染症の影響で売上減。
- 20. 業界大手との取引は拡大傾向だが、他社との競争も激しくなることが予想される。

- 21. 売上増につながる施策を行い、事業継続を図ります。
- 22. 信用管理面の強化。
- 23. 新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ 大きいです。
- 24. 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いて 10月~12月は大きなイベントなどが実施できたので景況はとてもよくなりました。木材の原価が上がったため、利益は予定より下がりましたが、昨年と比べて良い結果を出せたと思います。



()は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\triangle 44 \rightarrow \triangle 36$) はかなり改善した。売上額 ($\triangle 39 \rightarrow \triangle 30$)、施工高 ($\triangle 37 \rightarrow \triangle 31$) はともに減少幅がかなり縮小した。収益 ($\triangle 36 \rightarrow \triangle 34$) は前期並となった。

価格•在庫動向

請負価格 ($\triangle 23 \rightarrow \triangle 33$) は下降傾向がかなり強まり、材料価格 ($34 \rightarrow 55$) は上昇傾向が極端に強まった。在庫 ($3 \rightarrow \triangle 7$) は過剰から品薄に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(\triangle 29→ \triangle 29)は前期並となり、借入難易度(\triangle 5→ \triangle 8)はやや悪化した。今期借入れをした企業は 36%で前期の 31%から 5 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

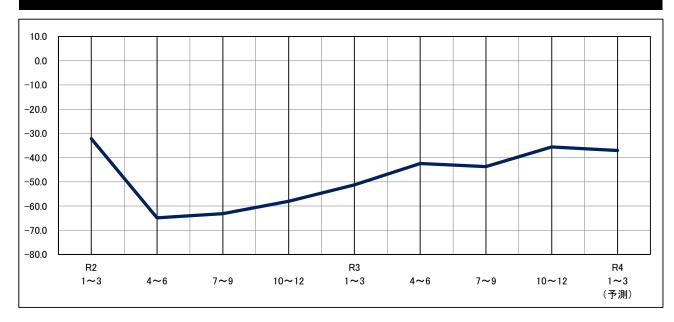
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」が47%、2位は「売上の停滞・減少」が46%、3位は「人手不足」が35%となった。前期4位だった「材料価格の上昇」が、今期1位と順位を上げ、令和2年1~3月期以降で最も高い割合となっている。(43ページ参照)

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が47%、2位は「経費を節減する」が41%、3位は「技術力を高める」が39%となった。前期5位だった「技術力を高める」が、今期3位と順位を上げた。

来期の見通し

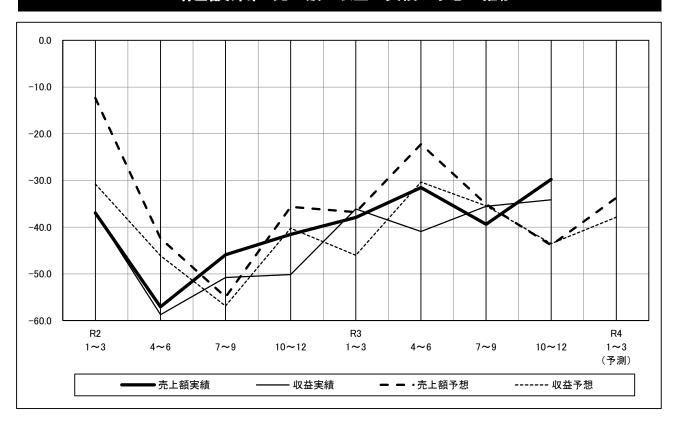
業況 (\triangle 36→ \triangle 37) は今期並となる見込み。売上額、収益はともに減少幅がやや拡大すると予想されている。

〈建設業〉 品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

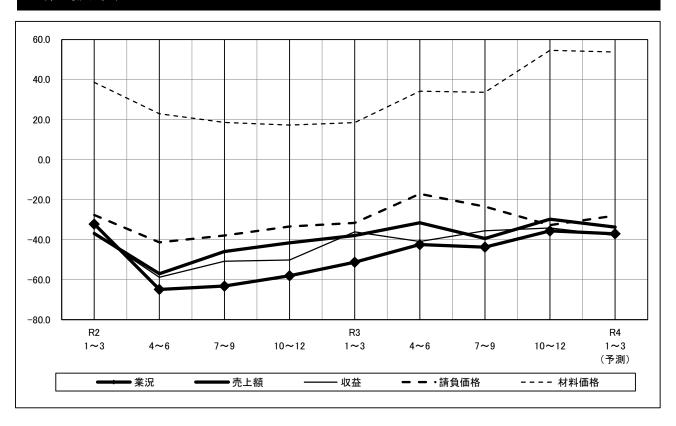


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

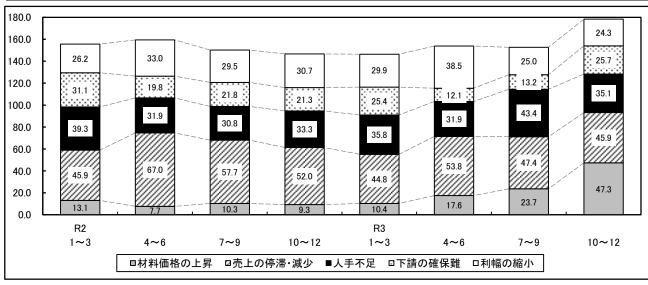
〈建設業〉売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き(実績)と来期の予測

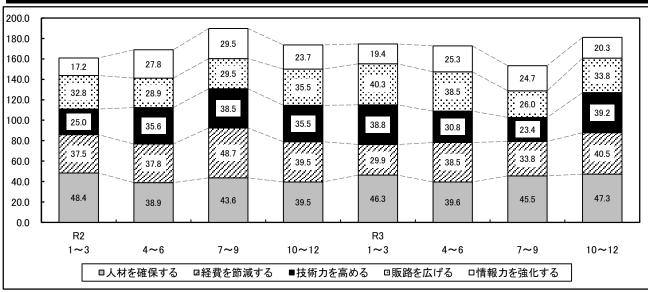


〈建設業〉経営上の問題点(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	売上の停滞・減少	44.8 %	売上の停滞・減少	53.8 %	売上の停滞・減少	47.4 %	材料価格の上昇	47.3 %
第2位	人手不足	35.8 %	利幅の縮小	38.5 %	人手不足	43.4 %	売上の停滞・減少	45.9 %
第3位	利幅の縮小	29.9 %	人手不足	31.9 %	利幅の縮小	25.0 %	人手不足	35.1 %
第4位	下請の確保難	25.4 %	材料価格の上昇	17.6 %	材料価格の上昇	23.7 %	下請の確保難	25.7 %
第5位	人件費の増加	17.9 %	同業者間の競争の激化	15.4 %	人件費の増加	14.5 %	利幅の縮小	24.3 %

〈建設業〉重点経営施策(%)



	R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期		R3.10~12月期	
第1位	人材を確保する	46.3 %	人材を確保する	39.6 %	人材を確保する	45.5 %	人材を確保する	47.3 %
第2位	販路を広げる	40.3 %	販路を広げる	38.5 %	経費を節減する	33.8 %	経費を節減する	40.5 %
			経費を節減する	38.5 %				
第3位	技術力を高める	38.8 %	技術力を高める	30.8 %	販路を広げる	26.0 %	技術力を高める	39.2 %
第4位	経費を節減する	29.9 %	情報力を強化する	25.3 %	情報力を強化する	24.7 %	販路を広げる	33.8 %
第5位	情報力を強化する	19.4 %	教育訓練を強化する	9.9 %	技術力を高める	23.4 %	情報力を強化する	20.3 %
			特になし	9.9 %				

建設業 業種別コメント

- 1. 売上、利益の減少に懸念がある。公共事業の発注減少による競争の激化。
- 2. 新型コロナウイルス感染症の影響で仕事が減少している。
- 3. 材料価格(材木)の上昇が今年は今までに考えられないほど上がってしまい、赤字になってしまう。大手は中小零細企業に転嫁していると思う。
- 4. 資材の上昇、受注減少。
- 5. 受注増の傾向にあるが人手不足が懸念される。
- 6. 受注する工事があるが、材料不足と価格の上昇が不安である。
- 7. 大手ゼネコンに監督として派遣しており、本 来の事業である大工工事、測量はやっていな い。
- 8. 工務店からの依頼が減少。HP などの施工実績などを充実し、販路拡大。地元密着のリピーターをサポートしていくことでリピート率 UP。
- 9. 現在人手が不足しているわけではないが、もう少し増えてもいいかと思っている。
- 10. 受注はしているが、売上が発生できるのは来年4月以降である。
- 11. 年明け以降、民間工事の受注がある。公共工事はほとんど受注なし。
- 12. 原材料費が上昇しても請負価格に転嫁されなければ、減益になるケースがある。
- 13. とにかく人手がいない。
- 14. 材料単価が上がってきているが、請求金額に 反映できないことがある。
- 15. 新型コロナウイルス感染症により、客の予算 がなくなっている。
- 16. 新型コロナウイルス感染症により、発注者側の事業計画の見直しが多く、受注低下状況。 建設建材の上昇を懸念する。
- 17. 材料が入手しづらく、また高騰している。高騰した材料を使わなくてはならないので、収益が減少。他にも運賃等も値上げしており、仕事は忙しくても利益が上がらない。
- 18. 仕事先の減少が大きい。
- 19. 受注減から向上しない。資金繰りが厳しい。
- 20. 営業の努力が実り、受注が増えている。

- 21. 受注増の中、採用できずに人手不足。
- 22. 受注企業の作業量が減少し、支出やリース経費が増大している。
- 23. 一時的に受注減少。資材納期遅れにより人手 過多になっている。
- 24. 技術力不足のため、人手を確保したい。
- 25. 一応落ち着いていますが、今後については不明です。
- 26. コロナの影響がいつまで続くか不安。
- 27. 安定した工事受注が 2022 年5~6月位ま では確保できている。
- 28. 売上が少し増加傾向である。
- 29. 通年状況が悪い。
- 30. 本年は新型コロナウイルス感染症による影響がなく、売上が増加した。
- 31. 協力会社の単価は上がっているのに元請が変わらず、利益率が悪化している。
- 32. 上位企業からの発注単価が下がっている。業界的に人手不足のため人員が確保できず。協力業者の単価が下がらず、受注控えの状況が続く。
- 33. 新型コロナウイルス感染症の影響も続いている中、多少なりとも売上の変化も見られるが、まだまだ不安定な状況。
- 34. 海外の新型コロナウイルス感染症によるコストダウンで、日本メーカーで仕上げ作業ができないため、出荷できず大変です。
- 35. 需要が増えても機器類の不足で施工ができない。または遅れが発生している。
- 36. 現在のところ期首の予想より良い方に向かっている。しかし、この先不透明であるので、 注意をして慎重に物事を考えている。
- 37. 令和2年~3年は売上が約7割減。
- 38. 新規契約・顧客の減少、経営戦略の変化が大きい。

日銀短観

[調査対象企業数]

(2021年12月調査)

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,859社	5,469社	9,328社	99.3%
うち大 企 業	982社	884社	1,866社	98.7%
中堅企業	1,005社	1,612社	2,617社	99.2%
中小企業	1,872社	2,973社	4,845社	99.6%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2020年度			2021年度		
			上期	下期		上期	下期
円/	2021年9月調査	_	I		107.64	107.64	107.64
デル	2021年12月調査	_		_	109.09	108.82	109.35
円/	2021年9月調査	_			126.50	126.67	126.33
ユーロ	2021年12月調査	_	_	_	127.71	127.93	127.49

		2020年度		2021年度	
			修正率	(計画)	修正率
	製造業	-7.8		10.1	2.3
	国内	-7.2	_	6.9	1.2
大企業	輸出	-9.0	_	17.0	4.5
	非製造業	-9.0	_	0.3	-0.1
	全産業	-8.5	_	4.4	1.0
	製造業	-6.4		7.6	0.5
中堅企業	非製造業	-6.9	_	1.7	-0.8
	全産業	-6.8	_	3.2	-0.5
	製造業	-7.7		5.9	0.4
中小企業	非製造業	-7.0	_	2.6	0.9
	全産業	-7.2	_	3.3	8.0
	製造業	-7.6		8.9	1.7
全規模合計	非製造業	-7.9	_	1.3	0.1
	全産業	-7.8	_	3.8	0.6

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント) [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

【未沈刊团】		(「良い」 一「恋い」・物かイント												
	2021年9	9月調査		2021年1	2月調査				2021年	9月調査		2021年1	2月調査	
	最近	先行き	最近		先行き		中小企業		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
	取处)LIIC	取处	変化幅)L11C	変化幅	国内での製商品・	製造業	-17	-16	-12	5	-13	-1
大企業							サービス需給判断	うち素材業種	-18	-17	-13	5	-15	-2
製 造 業	18	14	18	0	13	-5	(「需要超過」— 「供給超過」)	加工業種	-16	-16	-10	6	-11	-1
非製造業	2	3	9	7	8	-1		非製造業	-20	-20	-13	7	-14	-1
		_		,		· ·	海外での製商品 需給判断	製造業	-7	-6	-3	4	-5	-2
全産業	10	9	14	4	11	-3	(「需要超過」一	うち素材業種	-9	-7	-6	3	-8	-2
中堅企業							「供給超過」)	加工業種	-6	-6	0	6	-2	-2
製 造 業	6	3	6	0	5	-1	製商品在庫	製造業	11		9	-2		
非製造業	-6	-7	1	7	0	-1	水準判断 (「過大」-「不足」)	うち素材業種	10		9	-1		
全 産 業	-1	-4	3	4	2	-1		加工業種製造業	11 7		2	-3 -5		
中小企業							製商品流通在庫 水準判断	表世末 うち素材業種	9		5	-4		
製 造 業	-3	-4	-1	2	-1	0	(「過大」-「不足」)	加工業種	5		1	-4		
非製造業	-10	-13	-4	6	-6	-2		製造業	9	14	16	7	22	6
全産業	-8	-10	-3	5	-4	-1	販売価格判断	うち素材業種	19	24	26	7	29	3
全規模合計		- 10		<u>_</u>	<u> </u>	<u> </u>	(「上昇」「下落」)	加工業種	2	7	8	5	17 10	9
	-							非製造業製造業	50	51	60	10	61	4
製造業	5	2	6	1	4	-2	仕入価格判断	表理未 うち素材業種	53	50	62	9	59	-3
非製造業	-7	-8	0	7	-2	-2	(「上昇」一「下落」)	加工業種	48	50	60	12	62	2
全産業	-2	-5	2	4	0	-2		非製造業	29	31	39	10	41	2

東京都と品川区の企業倒産動向(令和3年12月)

(単位:件・億円)

1. 東京都の倒産概況

						(単位:件・徳円)
ſ						
L		令和2年12月	令和3年11月	令和3年12月	前月比	前年同月比
	件 数	131	86	85	1	▲ 46
	金 額	157	379	393	14	236

2. 原因別倒產動向

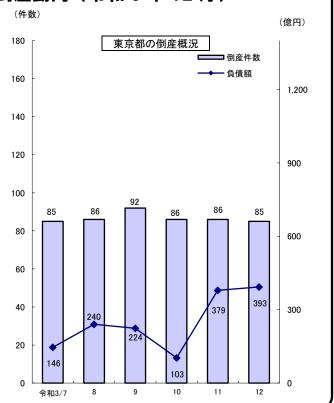
2 .]	2. 原因別倒產期问 (単位: 件·億円)											
ħ	 放漫経営	ì	過小資本	他社倒産の余波 既住のし			のしわよせ)しわよせ 販売不振				
4	15.8	0	0.0	8	234.9	9	96.0	61	44.7			
売掛金回収難		信	用性低下	在庫	状態悪化	設備	投資過大	7	その他			
1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.5			

3. 業種別倒産動向

		件数			金額	
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	7	10	9	3	11	25
卸売業	18	14	16	14	251	273
小売業	16	13	9	58	33	4
サービス業	30	14	14	22	58	57
建設業	19	8	15	39	3	14
不動産業	7	8	5	9	16	2
情報通信業·運輸業	13	9	9	2	5	8
宿泊業,飲食サービス業	15	4	6	5	1	2
その他	6	6	2	6	2	8
合計	131	86	85	157	379	393

4. 品川区内の令和3年12月の倒産動向

	HH7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	1 C / 1 V/ D/J/ P/J/ P/J/ 1	
	業 種	件 数	負債総額
	製造業	1 件	60百万円
Г	卸売業	0 件	0百万円
	小売業	0 件	0百万円
	サービス業	1 件	185百万円
	建設業	0 件	0百万円
	不動産業	1 件	20百万円
	情報通信業·運輸業	0 件	0百万円
	宿泊業,飲食サービス業	0 件	0百万円
	その他	0 件	0百万円
	合計	3 件	265百万円



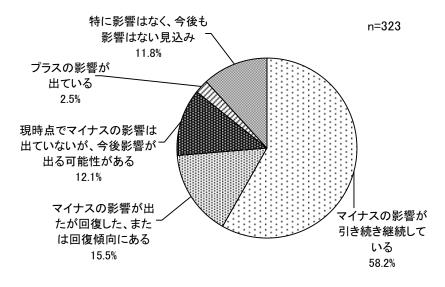
特別調査「新型コロナウイルス感染症および最低賃金引上げによるに影響について」

- 新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響については、「マイナスの影響が引き続き継続している」が 58.2%で最多
- ② 事業継続上の懸念事項等については、「先行き不透明により計画の策定が困難」が59.5%で最多
- ③ 最低賃金引上げによる影響については、「影響はない」が42.9%で最多
- ④ 最低賃金引上げによるマイナス面の具体的な影響については、「一時金(賞与や役員報酬等)を削減した」が26.8%で最多
- ⑤ 賃金相場の上昇に対応していくために必要だと考える支援の1位は、「今後の経済成長への展望の 提示」が21.8%で最多

問1. 新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響

新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響については、全体では「マイナスの影響が引き続き継続している」が 58.2%と最も多く、前期 (58.0%) から横ばいとなっている。次いで「マイナスの影響が出たが回復した、または回復傾向にある」が 15.5%、「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が 12.1%と続いた。

業種別では、すべての業種において「マイナスの影響が引き続き継続している」に回答が集中していることを示す結果となった。「特に影響はなく、今後も影響はない見込み」と回答した割合が高い業種は、建設業が23.3%、製造業が11.8%となり、他の業種では1割に満たなかった。なお、「マイナスの影響が引き続き継続している」と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の78.9%、最も少ないのは建設業の34.2%で、業種間の差は44.7ポイントとなっている。



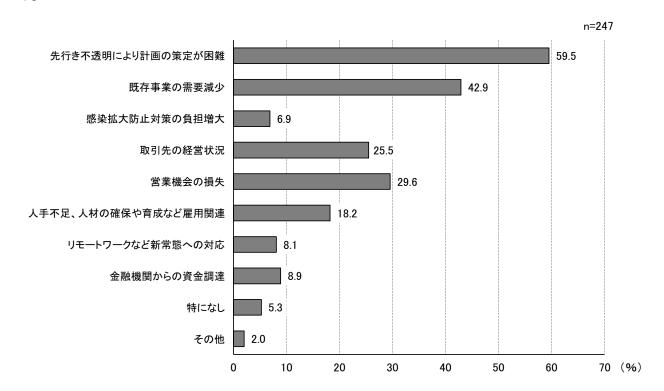
(単位:%)

					(単位: %)
	マイナスの影響 が引き続き継続 している	マイナスの影響 が出たが回復し た、または回復 傾向にある	現時点でマイナ スの影響は出て いないが、今後 影響が出る可能 性がある	プラスの影響が 出ている	特に影響はな く、今後も影響 はない見込み
全 体 (323) 件	58. 2	15.5	12. 1	2. 5	11.8
製 造 業 (68) 件	66. 2	19. 1	2. 9	0. 0	11.8
卸 売 業 (77) 件	66. 2	9. 1	11.7	3. 9	9. 1
小 売 業 (38) 件	78. 9	15. 8	2. 6	0. 0	2. 6
サービス業 (67) 件	55. 2	14. 9	14. 9	7. 5	7. 5
建 設 業 (73) 件	34. 2	19. 2	23. 3	0.0	23. 3

問2. 事業継続上の懸念事項等

事業継続上の懸念事項等については、全体では「先行き不透明により計画の策定が困難」が 59.5% と 最も多く、次いで「既存事業の需要減少」が42.9%、「営業機会の損失」が29.6%と続き、上位項目は前 期から変動がなかった。「先行き不透明により計画の策定が困難」は前期(46.8%)から12.7ポイント増 加した。

業種別では、すべての業種において「先行き不透明により計画の策定が困難」に回答が集中しているこ とを示す結果となった。また、卸売業においては「営業機会の損失」が 43.8%、サービス業と建設業で は「人手不足、人材の確保や育成など雇用関連」が2割半ばと、他の業種よりも回答割合が高くなってい る。



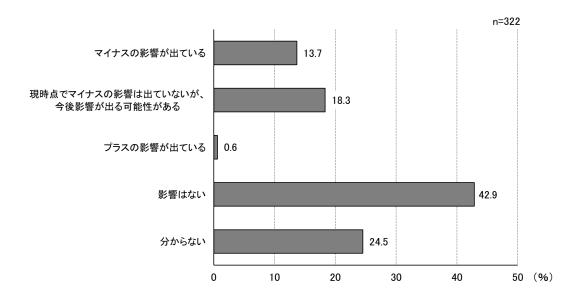
(単位:%)

	先行き不透明 により計画の 策定が困難	既存事業の 需要減少	感染拡大防止 対策の負担 増大	取引先の 経営状況	営業機会の 損失	人手不足、 人材の確保や 育成など雇用 関連	リモートワー クなど新常態 への対応	金融機関から の資金調達	特になし	その他
全 体 (247) 件	59. 5	42. 9	6. 9	25. 5	29. 6	18. 2	8. 1	8. 9	5. 3	2. 0
製 造 業 (49) 件	59. 2	53. 1	6. 1	14. 3	26. 5	8. 2	4. 1	8. 2	10. 2	4. 1
卸 売 業 (64) 件	50. 0	51.6	1. 6	37. 5	43. 8	12. 5	9.4	12. 5	3. 1	1. 6
小 売 業 (31) 件	74. 2	41.9	9. 7	19. 4	25. 8	19. 4	9. 7	12. 9	6. 5	0. 0
サービス業 (53) 件	66. 0	41.5	11. 3	32. 1	32. 1	28. 3	7.5	3. 8	0.0	1. 9
建 設 業 (50) 件	56.0	24. 0	8. 0	18.0	14. 0	24. 0	10.0	8. 0	8. 0	2. 0

問3. 最低賃金引上げによる影響

最低賃金引上げによる影響については、「影響はない」が42.9%と最も多く、次いで「現時点でマイナ スの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」が 18.3%、「マイナスの影響が出ている」が 13.7%と続いた。また、「分からない」は24.5%となっている。

業種別では、卸売業(50.6%)、サービス業(46.2%)、建設業(51.4%)では「影響はない」が最も高 く、製造業(32.4%)と小売業(31.6%)では「分からない」が最も高くなっている。また、小売業とサ ービス業では「マイナスの影響が出ている」が2割以上と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



(単位:%)

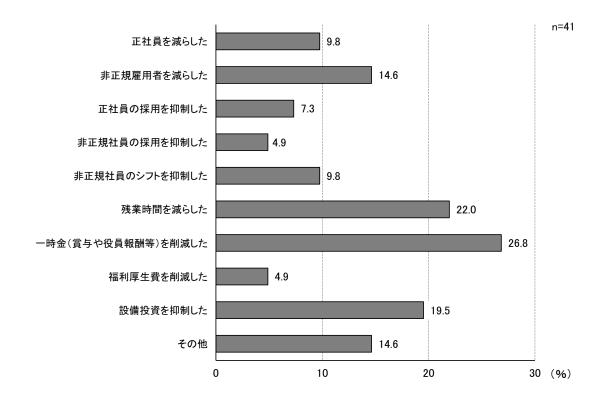
	マイナスの影響が 出ている	現時点でマイナスの 影響は出ていないが、 今後影響が出る可能性 がある	プラスの影響が 出ている	影響はない	分からない
全 体 (322) 件	13. 7	18. 3	0.6	42. 9	24. 5
製 造 業 (68) 件	8. 8	27. 9	1.5	29. 4	32. 4
卸 売 業 (77) 件	14. 3	9. 1	1.3	50. 6	24. 7
小 売 業 (38) 件	21. 1	18. 4	0.0	28. 9	31.6
サービス業 (65) 件	20. 0	16. 9	0. 0	46. 2	16. 9
建 設 業 (74) 件	8. 1	20. 3	0. 0	51. 4	20. 3

問4. 最低賃金引上げによるマイナス面の具体的な影響

問3で「マイナスの影響が出ている」と回答した企業における、マイナス面の具体的な影響については、「一時金(賞与や役員報酬等)を削減した」が26.8%と最も多く、次いで「残業時間を減らした」が22.0%、「設備投資を抑制した」が19.5%と続いた。

回答数が少ないので留意が必要だが、業種別にみると、製造業と建設業では「設備投資を抑制した」が 最も高くなっている。卸売業とサービス業では「残業時間を減らした」と「一時金(賞与や役員報酬等) を削減した」がそれぞれで最も高くなっている。小売業では「非正規社員のシフトを抑制した」、「残業時間を減らした」、「一時金(賞与や役員報酬等)を削減した」、「その他」が最も高くなっている。

また、「その他」のコメントとして、「人件費増加」や「収益悪化」といった回答がみられた。



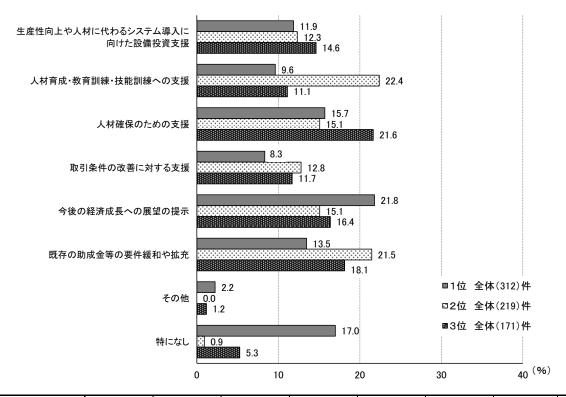
(単位:%)

										(単1位:%)
	正社員を減らした	非正規雇用者 を減らした	正社員の採用を抑制した	非正規社員の 採用を抑制 した	非正規社員の シフトを抑制 した	残業時間を減らした	一時金(賞与 や役員報酬 等)を削減 した	福利厚生費を削減した	設備投資を抑制した	その他
全 体 (41) 件	9.8	14. 6	7. 3	4. 9	9. 8	22. 0	26.8	4. 9	19. 5	14. 6
製 造 業 (5) 件	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0	20. 0	0.0	80.0	20.0
卸 売 業 (9) 件	0.0	11. 1	11. 1	0.0	11. 1	33. 3	33. 3	0.0	11. 1	22. 2
小 売 業 (8) 件	0.0	12. 5	12. 5	12. 5	25. 0	25. 0	25. 0	0.0	0.0	25. 0
サービス業 (13) 件	23. 1	23. 1	0.0	7.7	7. 7	30.8	30.8	7. 7	7. 7	0.0
建 設 業 (6) 件	16. 7	16. 7	16. 7	0.0	0.0	0.0	16. 7	16. 7	33. 3	16. 7

問5. 賃金相場の上昇に対応していくために必要だと考える支援

賃金相場の上昇に対応していくために必要だと考える支援について、重要度が高い順に尋ねたところ、1位は「今後の経済成長への展望の提示」が21.8%、2位は「人材育成・教育訓練・技能訓練への支援」が22.4%、3位は「人材確保のための支援」が21.6%とそれぞれ最も高くなっている。

業種別にみると、1位ではサービス業を除いた業種で「今後の経済成長への展望の提示」が最も高く、サービス業では「人材確保のための支援」が最も高くなっている。2位では製造業と卸売業で「既存の助成金等の要件緩和や拡充」が3割弱、サービス業と建設業で「人材育成・教育訓練・技能訓練への支援」が約3割と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。3位では小売業、サービス業、建設業で「人材確保のための支援」が2割半ばと、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



		生産性向上や人 材に代わるシス テム導入に向け た設備投資支援	人材育成・教育 訓練・技能訓練 への支援	人材確保のため の支援	取引条件の改善 に対する支援	今後の経済成長 への展望の提示	既存の助成金等 の要件緩和や 拡充	その他	特になし
	全 体(312)件	11.9	9. 6	15. 7	8. 3	21.8	13. 5	2. 2	17. 0
	製 造 業 (66) 件	19. 7	6. 1	10. 6	10. 6	22. 7	10. 6	1. 5	18. 2
1位	卸 売 業 (75) 件	9. 3	9. 3	12. 0	2. 7	22.7	20.0	2. 7	21.3
1 71	小 売 業 (34) 件	11.8	2. 9	8.8	5. 9	29. 4	17. 6	2. 9	20. 6
	サービス業 (67) 件	9. 0	13. 4	25. 4	7. 5	16. 4	14. 9	4. 5	9. 0
	建 設 業 (70) 件	10.0	12. 9	18. 6	14. 3	21.4	5. 7	0.0	17. 1
	全 体 (219) 件	12. 3	22. 4	15. 1	12. 8	15. 1	21.5	0.0	0. 9
	製 造 業 (47) 件	12. 8	17. 0	12. 8	10.6	19. 1	27. 7	0.0	0.0
2位	卸 売 業 (46) 件	13. 0	15. 2	15. 2	8. 7	19.6	28.3	0.0	0.0
2111	小 売 業 (24) 件	4. 2	16. 7	16. 7	20.8	16. 7	20.8	0.0	4. 2
	サービス業 (47) 件	17. 0	29.8	10.6	14. 9	12. 8	14. 9	0.0	0.0
	建 設 業 (55)件	10. 9	29. 1	20. 0	12. 7	9. 1	16. 4	0. 0	1.8
	全 体(171)件	14. 6	11. 1	21.6	11. 7	16. 4	18. 1	1. 2	5. 3
	製 造 業 (31) 件	25.8	0. 0	12. 9	9. 7	25.8	22. 6	0. 0	3. 2
3位	卸 売 業 (33) 件	21. 2	24. 2	15. 2	18. 2	6. 1	15. 2	0.0	0.0
3111	小 売 業 (20) 件	20. 0	15. 0	25.0	10.0	5. 0	10.0	0.0	15.0
	サービス業 (42) 件	2. 4	9. 5	28.6	9. 5	23. 8	16. 7	2. 4	7. 1
	建 設 業 (45) 件	11.1	8. 9	24. 4	11. 1	15. 6	22. 2	2. 2	4. 4

(単位:%)

中小企業景況調查 比較表・転記表

製 造 業

品川区 中小企業景況調査 比較表 令和 3 年 10 月~12 月期

<u>[今期の景況</u>	
---------------	--

_		全体	電気機械器具	一般機械器具・ 金型	出版·印刷· 同関連産業	金属製品・建設 用金属製品・ プレスメッキ	プラスチック製品
業況	ਜ਼	-61	-57	-29	-79	-94	-53
売」	上額	-50	-26	-18	-66	-94	-54
受注	主残	-38	-22	-14	-43	-79	-37
収益	±	-46	-29	-19	-53	-88	-48
販売	·····································	-12	13	-5	-21	-20	-16
原材	才料価格	71	61	69	59	68	100
原材	材料在庫	-3	29	-22	6	-13	-3
資金	金繰り	-39	-33	-23	-47	-71	-19
	残業時間	-9	0	31	-25	-23	-33
用	人手	-2	-20	-6	44	-39	0
同	売上額	-37	0	0	-63	-77	-27
期比	収益	-39	-30	-6	-50	-77	-36
	①売上の停滞・減少	70	80	40	94	85	50
経営	②工場・機械の狭小・老朽化	29	10	47	25	31	25
上 の	③利幅の縮小	17	0	27	19	23	8
問題	④同業者間の競争の激化	9	0	0	31	0	8
点	⑤人手不足	12	10	33	6	8	0
	①経費を節減する	42	22	35	63	54	27
重	②販路を広げる	53	78	41	69	39	46
点経営	③情報力を強化する	14	22	12	13	23	0
呂施策	④新製品・技術を開発する	20	22	29	13	15	18
朿	⑤人材を確保する	18	22	35	13	15	0
借力	 人の難易度	-3	0	0	0	-23	9

[来期の景況見通し]

_	別の泉が几巡り						1
業法	₹	-58	-36	-42	-74	-82	-54
売_	-額	-41	-20	-33	-43	-61	-49
受测	主残	-32	-8	-35	-34	-43	-35
収割	<u> </u>	-41	-15	-21	-46	-76	-53
販売		-10	14	-2	-27	-15	-17
原相	才料価格	70	57	61	58	75	98
原相	材料在庫	-7	4	-24	6	-15	3
資金	 た繰り	-40	-29	-18	-51	-78	-30
雇用	残業時間	-11	-20	19	-20	-15	-25
用	人手	-6	-10	-13	27	-39	0

^{*}単純D·Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

^{*}企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

品川区 中小企業景況調査 比較表 令和 3 年 10 月~12 月期

「今期の暑況]

	期の景況]	全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・ 身の回り品
業汙		-44	-22	-49	-45
売上	額	-27	-22	-19	-35
収益	ì	-28	-22	-22	-34
販売	価格	-1	-5	8	-10
仕み	価格	51	69	64	16
在庫	Ī	22	18	19	27
資金	線り	-30	-40	-31	-18
雇	残業時間	-5	-14	5	-18
用	人手	-33	-43	-45	-8
同	売上額	-5	-43	20	-25
期比	収益	-24	-71	0	-33
Ш	販売価格	8	0	21	-8
	①売上の停滞・減少	70	83	58	83
経営	②商店街の集客力の低下	16	17	5	33
1上の	③利幅の縮小	11	17	16	0
問題	④取引先の減少	11	33	5	8
点	⑤人手不足	19	33	26	0
	①経費を節減する	61	86	58	50
重	②品揃えを改善する	26	29	11	50
主点経	③宣伝・広報を強化する	24	29	32	8
営施	④新しい事業を始める	16	43	11	8
策	⑤商店街事業を活性化させる	3	14	0	0
借入	の難易度	-8	-14	-5	-9

[来期の景況見通し]

[7] · 7/1 · 7 / 7/1 / 7/2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 /				
業況	-48	-46	-45	-49
売上額	-42	-52	-37	-33
収益	-48	-51	-45	-44
販売価格	0	-19	10	-1
仕入価格	42	47	42	33
在庫	8	9	5	12
資金繰り	-35	-39	-35	-28
雇 <u>残業時間</u> 用	-13	-14	-10	-18
用 人手	-31	-29	-40	-17

- *単純D·Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度
- *企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名:品川区

中分類:業種合計

	調査期																		
項目		R 1∼3	2 月期	R 4∼6		R 7∼9			2 2月期	R 1∼3	3 月期		3 月期	7 ~ 9			R3 2月期	対 前期比	R4 1~3月期
	良い	17.7	12.7	10.5	11.3	5.3	3.5	10.0	4.1	16.7	5.1	8.3	10.3	10.1	11.1	9.9	13.2		8.7
	普通	19.4	39.2	10.5	16.1	7.9	14.1	17.5	13.5	23.1	19.0	21.4	28.2	26.1	18.5	21.1	25.0		26.1
業	悪い	62.9	48.1	79.1	72.6	86.8	82.4	72.5	82.4	60.3	75.9	70.2	61.5	63.8	70.4	69.0	61.8		65.2
況	D•I	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3	-81.6	-78.8	-62.5	-78.4	-43.6	-70.9	-61.9	-51.3	-53.6	-59.3	-59.2	-48.5		-56.5
	修正値	-48.6	-36.5	-64.9	-59.1	-78.1	-75.4	-63.0	-77.9	-48.5	-71.5	-59.1	-52.2	-44.8	-53.6	-61.4	-49.1	-17.0	-57.5
	傾向値	-36.0		-45.5		-54.6		-61.6		-64.3		-63.2		-58.9		-55.0			
	増加	17.7	11.4	11.6	6.5	10.4	5.9	30.4	19.7	24.4	15.2	14.3	15.4	17.6	17.1	20.8	25.0		19.4
	変らず	25.8	39.2	9.3	27.4	11.7	22.4	19.0	14.5	17.9	25.3	21.4	33.3	19.1	20.7	18.1	26.5		22.2
売	減少	56.5	49.4	79.1	66.1	77.9	71.8	50.6	65.8	57.7	59.5	64.3	51.3	63.2	62.2	61.1	48.5		58.3
上額	D·I	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7	-67.5	-65.9	-20.3	-46.1	-33.3	-44.3	-50.0	-35.9	-45.6	-45.1	-40.3	-23.5		-38.9
	修正値	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-63.2	-62.5	-31.4	-49.7	-38.3	-47.4	-38.5	-30.1	-37.6	-38.4	-50.4	-32.3	-13.0	-40.7
	-		-40.1		-52.7		-02.5		-49.7		-47.4		-30.1		-30.4		-32.3	-13.0	-40.7
\vdash	傾向値	-32.2	-	-39.6	, .	-46.9	F .	-49.1	40.0	-47.8	40.	-45.0		-40.0	40.1	-39.8	40.0		
	増加	6.5	5.1	11.6	4.8	9.2	5.9	18.8	16.0	21.8	10.1	13.3	11.5	8.7	18.1	14.1	16.2		11.3
受	変らず	43.5	48.7	16.3	43.5	23.7	23.5	30.0	28.0	21.8	32.9	32.5	34.6	29.0	26.5	39.4	36.8		43.7
注残	減少	50.0	46.2	72.1	51.6	67.1	70.6	51.3	56.0	56.4	57.0	54.2	53.8	62.3	55.4	46.5	47.1		45.1
12	D•I	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8	-57.9	-64.7	-32.5	-40.0	-34.6	-46.8	-41.0	-42.3	-53.6	-37.3	-32.4	-30.9		-33.8
	修正値	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-54.2	-61.1	-35.7	-40.7	-39.9	-46.1	-35.6	-43.5	-48.6	-33.0	-38.4	-34.2	10.0	-32.4
-	傾向値	-33.1		-40.6		-46.4		-48.4		-47.5		-43.9		-41.0		-40.4			
	増加	14.5	9.0	10.5	11.3	10.4	8.3	23.8	18.4	17.9	14.1	14.3	11.5	13.0	13.3	23.6	17.6		18.1
	変らず	27.4	39.7	11.6	29.0	18.2	17.9	16.3	15.8	20.5	25.6	23.8	21.8	24.6	21.7	16.7	25.0		25.0
収益	減少	58.1	51.3	77.9	59.7	71.4	73.8	60.0	65.8	61.5	60.3	61.9	66.7	62.3	65.1	59.7	57.4		56.9
- THE	D·I	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4	-61.0	-65.5	-36.3	-47.4	-43.6	-46.2	-47.6	-55.1	-49.3	-51.8	-36.1	-39.7		-38.9
	修正值	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-55.7	-60.4	-44.5	-50.4	-48.0	-48.2	-35.9	-52.7	-40.4	-44.7	-46.4	-45.1	-6.0	-41.3
	傾向値	-41.4		-48.1		-51.8		-52.3		-52.1		-49.6		-45.7		-44.2			
	販売価格	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6	-20.8	-15.3	-13.8	-19.7	-28.2	-18.8	-20.2	-26.9	-15.9	-20.5	-7.0	-14.7		-9.9
_	〃 修正値	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-18.4	-11.5	-16.3	-19.1	-28.3	-18.4	-18.3	-27.9	-14.7	-19.2	-11.5	-15.4	3.0	-10.3
価格	〃 傾向値	-10.4		-12.2		-14.2		-16.2		-19.0		-20.8		-20.1		-18.7			
動向	原材料価格	27.4	20.3	3.5	23.0	13.2	8.2	8.8	18.7	29.5	13.8	42.9	41.0	52.2	48.2	72.2	60.3		65.3
	〃 修正値	27.4	26.5	5.2	23.5	14.3	7.7	10.1	17.3	22.7	17.6	38.7	34.0	49.8	42.0	71.4	53.2	22.0	69.8
	" 傾向値	35.9		28.4		21.3		16.2		13.5		18.6		28.4		41.3			
在	原材料在庫数量	11.5	10.3	7.2	16.4	13.3	3.7	7.6	9.3	6.5	7.6	-2.4	6.5	-8.7	-2.4	-5.6	-10.3		-8.5
庫・必	"修正值		12.1	5.8	14.7	10.7	3.0	10.1	10.8	9.3	9.3	-1.6	5.9	-9.8	-1.2	-2.9	-8.2	7.0	-6.7
資金	資金繰り	-29.0		-47.7	-40.3	-33.8	-54.1	-27.8	-37.7	-26.9	-35.4	-40.0		-31.4		-38.9	-36.2		-37.5
繰り	リロー W を正値	-30.9		-45.4	-41.6				-36.7	-29.4		-36.6		-29.2		-38.8	-34.4	-10.0	-39.7
前		-57.4		-67.9		-77.9		-73.9	50.7	-59.2	30.1	-32.1	30.1	-29.2		-37.3	7.117		30.7
同	売上額																		
期比	収益	-58.1		-64.7		-76.6		-73.9		-60.6		-33.3		-40.0		-38.8			
-	다 봤다 ==	01.1	04.0	44.0	07.0	00.0	04.4	00.0	07.0	10.5	00.4	00.5	00.0	00.0	00.0		10.0		10.0
雇用	残業時間	-31.1	-24.6	-44.6	-27.9	-30.3	-34.1	-29.9	-27.6	-12.5		-26.5	-22.2	-23.8	-23.8	-9.0	-10.9		-10.6
\vdash	人手	-15.0	-10.1	8.3	-6.7	15.6	10.8	7.4	16.9	-8.3	8.8	1.2		9.5	2.4	-1.5	6.3		-6.1
7	借入難易度	1.6		10.8		21.3		5.9		11.3		-7.3		-4.6		-3.0			
金	借入をした(%)	27.4	32.8	42.0	23.3	46.1	36.0	38.8	26.9	36.2	26.2	40.5	34.3	29.0	21.1	24.2	11.7		17.2
\vdash	借入をしない(%)	72.6	67.2	58.0	76.7	53.9	64.0	61.2	73.1	63.8	73.8	59.5	65.7	71.0	78.9	75.8	88.3		82.8
有効	回答事業所数		62		86		77		80		78		85		70		73		

地域名:品川区

中分類:業種合計

									1				1		1					
項目		調査期	R 1∼3		R: 4∼6		R 7 ∼ 9		R 10~1		R 1∼3			3月期	7 ~ 9			3 2月期	対 前期比	R4 1~3月期
	現在	Eの設備	-8.2	-6.0	-6.1	0.0	7.9	-4.9	-1.5	5.3	-4.2	-1.5	-2.4	-2.8	-7.8	-1.2	-13.8	-8.1		-14.1
設	実施	もした	20.3	25.8	22.2	20.3	30.3	15.0	19.7	25.0	22.9	26.9	23.5	31.0	31.7	26.6	12.3	21.0		26.2
備		事業用地·建物	1.7	4.5	3.7	0.0	1.3	2.5	4.5	0.0	4.3	3.0	3.7	2.8	1.6	2.5	1.5	3.2		4.6
投資	投	機械・設備の新・増設	8.5	12.1	7.4	5.1	9.2	6.3	1.5	6.6	4.3	6.0	9.9	9.9	12.7	8.9	4.6	6.5		9.2
動向	資	機械・設備の更改	1.7	7.6	4.9	6.8	6.6	3.8	9.1	9.2	5.7	11.9	8.6	11.3	17.5	10.1	7.7	6.5		10.8
$\overline{}$	内容	事務機器	13.6	7.6	8.6	11.9	11.8	6.3	13.6	9.2	12.9	9.0	8.6	12.7	6.3	7.6	7.7	8.1		9.2
% _		車両	3.4	3.0	4.9	6.8	9.2	3.8	3.0	7.9	10.0	6.0	4.9	7.0	6.3	6.3	3.1	9.7		7.7
		その他	0.0	1.5	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	1.4	0.0	2.5	1.4	0.0	1.3	0.0	0.0		0.0
	実施	面しない	79.7	74.2	77.8	79.7	69.7	85.0	80.3	75.0	77.1	73.1	76.5	69.0	68.3	73.4	87.7	79.0		73.8
	売」	この停滞・減少	66.1		81.2		83.1		76.1		70.8		80.2		71.9		69.7			
	人引	手不足	16.1		10.6		6.5		11.9		12.5		11.1		9.4		12.1			
	大引	F企業との競争の激化	0.0		0.0		2.6		3.0		0.0		3.7		3.1		1.5			
	同第	業者間の競争の激化	11.3		9.4		6.5		16.4		16.7		8.6		9.4		9.1			
		と業による選別の強化	3.2		1.2		2.6		3.0		0.0		1.2		4.7		1.5			
I		人製品との競争の激化	1.6		2.4		2.6		0.0		1.4		4.9		3.1		1.5			
I		型化の不足	6.5		5.9		10.4		7.5		6.9		4.9		7.8		6.1			
		量の縮小	29.0		24.7		20.8		23.9		20.8		28.4		15.6		16.7			
		材料高	21.0		9.4		9.1		10.4		15.3		38.3		31.3		50.0			
		144両 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6.5		2.4		5.2		4.5		9.7		4.9		1.6		0.0			
経営		大元からの値下げ要請 大からの値上げ要請	8.1		5.9		3.9		3.0		4.2		12.3		15.6		15.2			
営上の			9.7		11.8		3.9		9.0		9.7		8.6		9.4		3.0			
問		井費の増加																		
題点		井費以外の経費増加	8.1		5.9		9.1		7.5		8.3		2.5		3.1		9.1			
<u>~</u>		易・機械の狭小・老朽化	17.7		17.6		18.2		28.4		25.0		18.5		15.6		28.8			
Ü		能力の不足	11.3		4.7		3.9		6.0		6.9		3.7		1.6		6.1			
		青の確保難	8.1		9.4		3.9		10.4		6.9		1.2		4.7		4.5			
		全回収の悪化	1.6		1.2		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0			
		画の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
		く	0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
		景産業の衰退	3.2		5.9		2.6		3.0		2.8		1.2		1.6		1.5			
		F企業·工場の縮小·撤退	6.5		4.7		10.4		11.9		6.9		0.0		1.6		1.5			
	為桂	替レートの変動	3.2		1.2		3.9		3.0		4.2		1.2		0.0		1.5			
	その)他	8.1		7.1		7.8		6.0		4.2		3.7		4.7		3.0			
	問是	重なし	1.6		0.0		3.9		1.5		0.0		1.2		4.7		3.0			
	販路	各を広げる	47.5		62.7		56.0		53.6		59.2		56.0		56.5		53.0			
	経勤	せを節減する しゅうしゅう	37.7		56.6		48.0		55.1		47.9		50.0		40.3		42.4			
	情幸	最力を強化する	18.0		20.5		24.0		21.7		21.1		19.0		17.7		13.6			
	新製	製品・技術を開発する	31.1		21.7		26.7		21.7		21.1		26.2		21.0		19.7			
I	不拐	(算部門を整理・縮小する	3.3		10.8		4.0		7.2		4.2		9.5		6.5		7.6			
重	提携	先を見つける	11.5		14.5		9.3		5.8		12.7		9.5		6.5		15.2			
点	機材	或化を推進する	13.1		3.6		5.3		2.9		12.7		4.8		4.8		7.6			
経営	人札	すを確保する	21.3		13.3		18.7		18.8		19.7		22.6		12.9		18.2			
施策	パー	-ト化を図る	1.6		2.4		4.0		2.9		1.4		1.2		1.6		1.5			
~ %	教育	育訓練を強化する	14.8		16.9		9.3		11.6		18.3		10.7		12.9		13.6			
~	労働	効条件を改善する	9.8		3.6		2.7		1.4		2.8		7.1		4.8		1.5			
I	工均	易・機械を増設・移転する	3.3		8.4		4.0		5.8		5.6		3.6		6.5		4.5			
I	不重	助産の有効活用を図る	4.9		1.2		4.0		4.3		7.0		3.6		8.1		4.5			
I																				
	その	D他	3.3		2.4		1.3		2.9		0.0		2.4		1.6		1.5			
	特に	こなし	4.9		6.0		9.3		8.7		4.2		4.8		6.5		12.1			
有効	回答	事業所数		62		86		77		80		78		85		70		73		

卸売業

地域名:品川区

中分類:業種合計

項目	調査期		2 月期	R 4∼6	2 月期	R 7~9		F 10~1	2 2月期	R 1~3		R 4∼6	3 月期	F 7∼9	3 月期	F 10~1	3 2月期	対前期比	R4 1~3月期
	良い	7.9	10.5	3.8	1.6	7.7	2.5	10.5	9.0	10.8	6.7	19.1	11.0	15.0	16.0	13.9	20.5		10.1
	普通	20.6	40.8	6.3	15.9	14.1	11.4	19.7	16.7	16.2	21.3	21.3	24.7	21.3	33.0	17.7	24.4		32.9
業	悪い	71.4	48.7	89.9	82.5	78.2	86.1	69.7	74.4	73.0	72.0	59.6	64.4	63.8	51.1	68.4	55.1		57.0
況	D•I	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0	-70.5	-83.5	-59.2	-65.4	-62.2	-65.3	-40.4	-53.4	-48.8	-35.1	-54.4	-34.6		-46.8
	修正値	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-70.3	-81.7	-62.1	-65.4	-59.5	-65.7	-38.8	-50.4	-49.3	-36.2	-56.6	-39.2	-7.0	-45.5
	傾向値	-40.6		-50.0		-61.5		-67.9		-69.7		-63.8		-55.4		-52.0			
	増加	20.6	14.5	2.5	7.9	15.4	10.1	25.0	15.2	12.2	13.2	29.8	21.9	18.5	29.0	25.6	28.8		19.2
	変らず	15.9	32.9	11.4	14.3	14.1	19.0	17.1	21.5	24.3	28.9	24.5	30.1	22.2	31.2	17.9	25.0		33.3
売上	減少	63.5	52.6	86.1	77.8	70.5	70.9	57.9	63.3	63.5	57.9	45.7	47.9	59.3	39.8	56.4	46.3		47.4
額	D•I	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8	-55.1	-60.8	-32.9	-48.1	-51.4	-44.7	-16.0	-26.0	-40.7	-10.8	-30.8	-17.5		-28.2
	修正値	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-54.7	-58.6	-42.5	-51.3	-49.0	-40.5	-6.9	-24.5	-40.6	-14.5	-39.8	-24.0	1.0	-22.2
	傾向値	-37.8		-44.1		-52.3		-54.4		-54.7		-47.3		-37.0		-35.0			
	増加	16.1	11.8	2.5	6.5	16.7	10.1	21.1	15.2	12.3	11.8	28.7	24.7	16.0	26.6	24.4	22.5		21.8
	変らず	21.0	36.8	12.7	19.4	11.5	16.5	22.4	19.0	21.9	28.9	24.5	24.7	18.5	34.0	17.9	31.3		25.6
収	減少	62.9	51.3	84.8	74.2	71.8	73.4	56.6	65.8	65.8	59.2	46.8	50.7	65.4	39.4	57.7	46.3		52.6
益	D•I	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7	-55.1	-63.3	-35.5	-50.6	-53.4	-47.4	-18.1	-26.0	-49.4	-12.8	-33.3	-23.8		-30.8
	修正值	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-56.5	-61.7	-43.5	-52.4	-49.8	-43.5	-12.1	-26.4	-49.0	-17.4	-41.7	-27.3	7.0	-25.2
	傾向値	-39.6		-45.6		-53.7		-55.4		-55.8		-48.6		-39.8		-38.8			
	販売価格	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2	-17.9	-35.4	-17.1	-20.3	-12.3	-14.5	6.4	0.0	3.7	10.6	12.7	13.8		6.3
	# 修正值	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-19.3	-31.2	-18.3	-18.6	-15.8	-16.4	7.9	-6.7	1.4	12.1	10.7	13.2	9.0	5.7
価格	〃 傾向値	-6.5		-11.4		-16.5		-19.3		-19.7		-14.8		-7.5		-1.1			
動向	仕入価格	4.8	14.5	3.8	3.2	16.9	-1.3	18.4	12.8	17.6	22.4	37.2	31.1	39.5	31.9	57.0	44.3		50.6
	〃 修正値	9.4	18.5	5.5	5.2	17.8	1.8	16.1	12.1	17.7	20.8	32.8	26.6	35.4	31.6	53.8	39.6	18.0	49.8
	〃 傾向値	25.3		17.4		11.4		10.0		12.6		18.3		25.4		33.0			
在庫	在庫数量	29.5	20.0	32.0	14.8	15.8	26.7	6.7	13.0	16.7	12.0	13.0	6.9	11.3	13.0	5.1	3.8		6.4
資	〃 修正値	24.8	18.4	33.5	13.3	15.6	29.4	10.7	12.3	14.3	11.1	12.8	7.7	11.3	14.2	8.7	4.7	-3.0	5.6
金繰	資金繰り	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4	-14.3	-37.2	-2.6	-19.2	-17.3	-7.9	-13.8	-13.3	-25.9	-21.3	-30.4	-37.5		-29.1
9	〃 修正値	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-11.8	-33.7	-8.7	-19.2	-18.6	-12.1	-10.3	-13.3	-21.9	-17.4	-32.3	-33.9	-10.0	-32.1
4	売上額	-53.2		-75.9		-66.7		-50.0		-43.1		6.5		-16.0		-27.8			
793	収益	-58.1		-82.3		-70.5		-58.6		-47.2		-1.1		-28.4		-38.0			
比	販売価格	-23.0		-36.7		-31.2		-22.9		-8.3		12.1		6.3		7.6			
雇用	残業時間	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6	-31.2	-27.3	-14.3	-22.1	-34.7	-17.1	-23.4	-13.9	-11.3	-13.8	-5.1	-2.5		-3.8
	人手	-9.7	-15.4	15.4	-8.1	2.6	15.4	-2.9	0.0	1.4	-1.4	-6.5	-2.8	-8.6	-8.6	-16.5	-12.5		-16.5
借	借入難易度	-6.3		4.0		2.6		10.1		0.0		-6.6		-11.3		-10.3			
入金	借入をした(%)	35.0	28.6	40.3	31.1	46.2	42.3	46.4	29.2	40.3	22.4	34.0	18.8	34.2	19.1	34.2	15.8		18.4
L	借入をしない(%)	65.0	71.4	59.7	68.9	53.8	57.7	53.6	70.8	59.7	77.6	66.0	81.2	65.8	80.9	65.8	84.2		81.6
有効	回答事業所数		63		80		79		76		75		94		81		80		

地域名:品川区

中分類:業種合計

		調査期	R		R		R		R		R		R		R			3	対	R4
項		Eの設備	1~3		4~6		7~9			2月期	1~3		4~6		7~9				前期比	1~3月期
			-3.4	-3.2	-1.4	-3.4	-8.3	-7.0	2.9	-8.5	-1.5	4.3	-3.4	-2.9	-5.2	-2.3	-9.3	-3.9		-12.0
設	天川		24.6	37.7	28.4	20.4	36.4	31.0	38.6	30.4	29.2	31.3	27.9	28.2	18.5	31.0	29.3	27.5		34.2
備投		事業用地・建物	1.8	4.9	1.4	0.0	5.2	4.2	7.1	2.9	2.8	3.0	1.2	1.4	1.2	2.4	2.7	3.8		4.1
資動	投	機械・設備の新・増設	1.8	8.2	8.1	0.0	5.2	7.0	5.7	2.9	1.4	7.5	5.8	0.0	2.5	4.8	4.0	1.3		4.1
向	資内	機械・設備の更改	1.8	8.2	8.1	3.7	6.5	2.8	2.9	8.7	4.2	10.4	3.5	5.6	0.0	7.1	6.7	1.3		11.0
%	容	事務機器	15.8	21.3	16.2	16.7	20.8	18.3	24.3	17.4	16.7	14.9	19.8	22.5	11.1	14.3	13.3	13.8		16.4
\smile		車両	14.0	14.8	10.8	11.1	13.0	7.0	12.9	10.1	11.1	10.4	4.7	5.6	7.4	9.5	10.7	7.5		9.6
	cto +s	その他 しない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.2	1.4	1.2	1.2	1.3	2.5		0.0
			75.4	62.3	71.6	79.6	63.6	69.0	61.4	69.6	70.8	68.7	72.1	71.8	81.5	69.0	70.7	72.5		65.8
	売」	この停滞・減少	58.3		77.6		66.7		69.1		66.2		61.3		66.2		65.3			
	人引	不足	8.3		6.6		14.1		11.8		19.7		12.9		9.1		14.7			
	同第	(者間の競争の激化	18.3		21.1		17.9		19.1		21.1		21.5		18.2		9.3			
	輸力	、製品との競争の激化	0.0		2.6		1.3		0.0		0.0		1.1		3.9		1.3			
		経路の変化による競争の激化	10.0		9.2		3.8		7.4		2.8		9.7		6.5		5.3			
	合理	里化の不足	6.7		6.6		7.7		11.8		4.2		5.4		6.5		2.7			
		注文・多頻度配送の増加	6.7		6.6		12.8		14.7		9.9		6.5		2.6		6.7			
		冨の縮小	36.7		23.7		30.8		19.1		32.4		23.7		29.9		36.0			
		及商品の陳腐化	3.3		2.6		3.8		5.9		4.2		5.4		7.8		5.3			
経営	販売	商品の不足	11.7		6.6		5.1		7.4		4.2		7.5		7.8		5.3			
上		熱入先からの値下げ要請	3.3		7.9		3.8		4.4		4.2		1.1		1.3		6.7			
の問	仕り	人先からの値上げ要請	1.7		5.3		6.4		10.3		12.7		18.3		16.9		30.7			
題点		‡費の増加	6.7		10.5		9.0		7.4		9.9		8.6		7.8		2.7			
~ %	人化	‡費以外の経費の増加	6.7		7.9		7.7		5.9		1.4		5.4		6.5		6.7			
90 —		先の減少	26.7		21.1		26.9		26.5		18.3		23.7		26.0		22.7			
		前の狭小・老朽化	1.7		2.6		1.3		4.4		0.0		1.1		0.0		0.0			
		全回収の悪化	1.7		7.9		1.3		1.5		2.8		2.2		2.6		5.3			
		面の高騰	0.0		0.0		0.0		1.5		4.2		1.1		0.0		2.7			
		≣場の確保難	1.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
		その不順	3.3		1.3		5.1		1.5		4.2		1.1		3.9		1.3			
		<u>房産業の衰退</u>	3.3		1.3		2.6		0.0		5.6		2.2		0.0		1.3			
		トの変動	13.3		6.6		12.8		7.4		11.3		16.1		11.7		25.3			
		企業・工場の縮小・撤退	3.3		7.9		9.0		2.9		4.2		4.3		2.6		1.3			
		D他 	11.7		7.9		3.8		2.9		4.2		2.2		7.8		4.0			
<u> </u>		値なし	1.7		1.3		2.6		4.4		4.2		4.3		5.2		1.3			
		各を広げる	54.0		55.3		59.0		69.1		59.2		67.4		69.6		64.9			
		を節減する	49.2		51.3		48.7		41.2		43.7		42.4		45.6		37.7			
		前えを充実する	17.5		15.8		10.3		13.2		21.1		13.0		8.9		13.0			
		最力を強化する	27.0		38.2		35.9		27.9		22.5		32.6		31.6		29.9			
		い事業を始める	11.1		10.5		9.0		11.8		14.1		15.2		11.4		14.3			
重		歩先を見つける	3.2 1.6		9.2		6.4		2.9 4.4		2.8		9.8		2.5		10.4			
点経		成化を推進する			2.6		2.6										1.3			
営施		すを確保する	19.0		15.8		19.2		23.5		19.7		22.8		12.7		23.4			
策		-ト化を図る 引訓練を強化する	1.6 11.1		7.9		1.3		1.5		7.0		0.0 8.7		10.1		1.3 7.8			
%			7.9		2.6		2.6		2.9				5.4		10.1		3.9			
$\overline{}$		■経路の見直しをする 先を支援する	3.2		0.0		5.1		2.9		11.3		2.2		1.3		0.0			
		元を又接する 品の取扱いを増やす	6.3		1.3		2.6		1.5		2.8		6.5		3.8		1.3			
		(品の取扱いを増わり 助条件を改善する	1.6		5.3		3.8		5.9		7.0		1.1		2.5		1.3			
		加条件を改善する	3.2		3.9		3.8		7.4		2.8		2.2		5.1		3.9			
	<u> 不里</u> その		0.0		5.3		1.3		1.5		2.8		2.2		3.8		2.6			
		なし	6.3		6.6		9.0		7.4		9.9		4.3		6.3		7.8			
右が		事業所数	0.3	63		80		79		76		75		94	0.3	81		80		
刊划	凹台	サ木川奴		บง		60		79		/0		10		94		01		00	<u> </u>	

小売業

地域名:品川区 中分類:業種合計

調査期																			
項目		R 1∼3	2 月期	R 4∼6		R 7 ∼ 9		F 10~1	2 2月期	R 1∼3		R 4∼6		R 7 ∼ 9			3 2月期	対 前期比	R4 1~3月期
	良い	2.7	1.6	3.2	2.8	8.3	4.8	12.1	11.3	11.6	12.1	6.5	14.3	9.5	8.2	23.9	19.0		13.6
	普通	8.1	57.4	7.9	2.8	6.9	14.3	13.8	15.5	14.5	3.4	14.5	15.7	12.7	21.3	17.9	15.9		24.2
業	悪い	89.2	41.0	88.9	94.4	84.7	81.0	74.1	73.2	73.9	84.5	79.0	70.0	77.8	70.5	58.2	65.1		62.1
況	D∙I	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7	-76.4	-76.2	-62.1	-62.0	-62.3	-72.4	-72.6	-55.7	-68.3	-62.3	-34.3	-46.0		-48.5
	修正值	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	-73.7	-72.9	-66.0	-64.6	-59.7	-70.9	-69.4	-52.4	-65.5	-58.5	-43.7	-51.4	22.0	-48.3
	傾向値	-44.7		-57.6		-68.7		-75.6		-74.6		-70.0		-67.3		-62.8			
	増加	8.1	6.6	9.5	0.0	41.7	12.7	29.3	30.6	8.6	7.1	9.7	20.0	7.9	19.4	35.8	23.8		6.1
	変らず	2.7	55.7	3.2	13.5	9.7	20.6	10.3	31.9	18.6	8.9	17.7	24.3	19.0	27.4	20.9	30.2		36.4
売上	減少	89.2	37.7	87.3	86.5	48.6	66.7	60.3	37.5	72.9	83.9	72.6	55.7	73.0	53.2	43.3	46.0		57.6
額	D∙I	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5	-6.9	-54.0	-31.0	-6.9	-64.3	-76.8	-62.9	-35.7	-65.1	-33.9	-7.5	-22.2		-51.5
	修正值	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-11.2	-47.1	-41.1	-22.7	-50.5	-72.7	-60.0	-33.8	-66.6	-28.4	-27.0	-37.9	40.0	-41.5
	傾向値	-39.4		-52.7		-54.6		-49.2		-47.1		-43.2		-48.6		-52.9			
	増加	0.0	3.3	7.9	0.0	33.3	11.1	20.7	27.8	4.3	3.5	9.8	21.4	9.5	11.5	29.9	22.6		1.5
	変らず	10.8	55.7	4.8	13.5	15.3	20.6	15.5	30.6	17.1	15.8	18.0	21.4	23.8	34.4	29.9	33.9		39.4
収益	減少	89.2	41.0	87.3	86.5	51.4	68.3	63.8	41.7	78.6	80.7	72.1	57.1	66.7	54.1	40.3	43.5		59.1
盆	D∙I	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5	-18.1	-57.1	-43.1	-13.9	-74.3	-77.2	-62.3	-35.7	-57.1	-42.6	-10.4	-21.0		-57.6
	修正值	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	-24.8	-53.6	-48.4	-26.1	-62.1	-73.0	-60.7	-34.1	-61.4	-39.2	-27.9	-35.5	34.0	-48.0
	傾向値	-46.9		-58.8		-61.2		-57.4		-55.6		-51.6		-54.3		-55.1			
	販売価格	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2	-2.8	-17.5	-6.9	-9.7	-17.4	-20.7	-9.7	-8.7	-19.4	-9.7	4.5	-8.1		0.0
価	〃 修正値	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	-3.5	-9.1	-10.0	-12.3	-14.3	-20.6	-7.1	-12.4	-19.7	-2.0	-1.4	-11.4	18.0	0.4
格動	" 傾向値	-4.2		-8.1		-10.5		-11.7		-12.1		-10.4		-11.3		-11.9			
向	仕入価格	2.7	16.4	3.2	-5.4	19.4	4.8	12.1	15.3	0.0	3.4	29.0	-4.3	17.7	32.3	58.2	24.2		43.9
	# 修正値	7.9	22.3	4.0	-1.0	23.7	9.3	10.1	12.9	3.7	4.9	27.2	-0.8	19.3	32.1	50.6	19.1	31.0	41.9
	〃 傾向値	31.5		21.2		14.3		10.9		9.0		11.9		14.9		20.5			
在庫	在庫数量	10.8	8.3	14.1	5.4	4.2	6.5	10.3	2.8	4.3	10.3	21.0	4.3	3.2	17.7	23.9	1.6		9.1
· 資	# 修正値	10.1	7.7	16.5	3.6	4.1	9.6	10.4	2.9	3.7	9.4	18.5	1.8	4.9	17.8	21.6	3.4	17.0	7.8
金繰	資金繰り	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9	-28.2	-48.4	-41.4	-33.8	-42.0	-50.0	-30.6	-37.3	-36.5	-29.0	-27.9	-31.7		-35.8
Ŋ	〃 修正値	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	-29.2	-47.1	-42.3	-35.8	-36.9	-49.5	-31.1	-34.2	-38.1	-28.1	-30.0	-34.5	8.0	-34.7
前年	売上額	-75.7		-71.2		-80.4		-90.9		-78.3		-27.7		-64.3		-5.1			
同期	収益	-81.1		-72.9		-80.4		-88.6		-71.7		-34.0		-61.9		-23.7			
比	販売価格	-21.6		-18.6		-17.6		-22.7		-26.1		-6.4		-16.7		7.9			
雇用	残業時間	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7	-31.4	-40.4	-48.8	-21.6	-56.8	-47.6	-34.0	-40.9	-21.4	-27.7	-5.3	-11.9		-13.2
/13	人手	-18.9	-56.3	5.2	-24.3	11.8	-1.7	0.0	11.8	-13.0	0.0	0.0	-19.6	-7.0	2.1	-33.3	-7.0		-30.8
IB	借入難易度	-19.4		14.8		10.4		12.2		7.1		-13.0		-9.5		-8.1			
入金	借入をした(%)	25.7	17.2	57.9	36.1	64.0	29.5	59.1	23.8	62.2	29.7	45.7	23.7	45.5	20.5	54.1	15.0		24.3
	借入をしない(%)	74.3	82.8	42.1	63.9	36.0	70.5	40.9	76.2	37.8	70.3	54.3	76.3	54.5	79.5	45.9	85.0		75.7
有効	回答事業所数		37		64		72		58		70		62		63		68		

小売業

地域名:品川区

中分類:業種合計

		調査期	R		R		R		R		R			3		3		3	対	R4
項目	_	Eの設備	1~3		4~6		7~9			2月期	1~3		4~6		7~9				前期比	
		した	-8.6	-9.7	-15.8	-5.7	-18.4	-15.8	-27.9	-16.3	-9.1	-18.6	-10.9	-15.9	-14.6	-13.3	-16.2	-12.2		-13.5
設	大川		37.5	33.3	31.0	25.8	23.9	20.8	31.0	20.9	28.6	15.0	21.4	31.0	22.0	21.4	24.3	25.6		29.7
備投		事業用地・建物	6.3	7.4	6.9	3.2	4.3	5.7	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	4.8	2.4	4.8	2.7	5.1		8.1
資動	投	機械・設備の新・増設	12.5	14.8	22.4	9.7	13.0	11.3	14.3	7.0	16.7	10.0	11.9	16.7	9.8	4.8	13.5	10.3		10.8
向	内	機械・設備の更改	18.8	14.8	10.3	12.9	15.2	15.1	7.1	14.0	9.5	2.5	4.8	16.7	4.9	9.5	13.5	5.1		13.5
%	容	事務機器	21.9	11.1	12.1	12.9	4.3	1.9	14.3	7.0	4.8	7.5	7.1	4.8	7.3	4.8	5.4	7.7		13.5
\smile		車両	9.4	7.4	6.9	0.0	4.3	3.8	7.1	4.7	2.4	2.5	7.1	2.4	7.3	4.8	2.7	10.3		10.8
	実施	その他 Eしない	0.0	0.0	0.0 69.0	6.5 74.2	0.0	70.0	2.4	70.1	2.4	0.0 85.0	2.4	69.0	70.0	7.1	0.0	74.4		70.2
	-		62.5 77.1	66.7	85.5	74.Z	76.1 88.0	79.2	69.0 88.1	79.1	71.4 86.0	85.0	78.6 81.8	69.0	78.0 86.0	78.6	75.7 70.3	74.4		70.3
		ニの停滞・減少 = 不足	28.6		16.4		12.0		14.3		18.6		13.6		14.0		18.9			
		*者間の競争の激化	5.7		5.5		12.0		7.1		11.6		15.9		11.6		10.8			
		と 信息の競争の激化	2.9		1.8		4.0		4.8		9.3		0.0		2.3		8.1			
		(製品との競争の激化)	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
		国の縮小	8.6		21.8		32.0		23.8		25.6		11.4		16.3		10.8			
		の 間 小 間 の 間 の 間 の 間 の 間 の 間 の 間 の 間 の 間	5.7		1.8		2.0		2.4		7.0		6.8		7.0		13.5			
		商品の休園に	2.9		0.0		2.0		2.4		0.0		2.3		2.3		8.1			
		S納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		0.0		2.4		2.3		0.0		0.0		0.0			
経		(先からの値上げ要請	0.0		5.5		2.0		2.4		4.7		13.6		16.3		21.6			
営		‡費の増加	22.9		12.7		12.0		9.5		16.3		15.9		16.3		24.3			
上の	人作	+費以外の経費の増加	14.3		10.9		6.0		9.5		7.0		6.8		0.0		8.1			
問題	取引	先の減少	11.4		9.1		10.0		16.7		11.6		13.6		14.0		10.8			
点	商图	圏人口の減少	2.9		5.5		18.0		7.1		7.0		2.3		2.3		2.7			
%	商店	賃街の集客力の低下	14.3		12.7		18.0		31.0		11.6		9.1		14.0		16.2			
	店部	#の狭小・老朽化	2.9		0.0		4.0		2.4		4.7		6.8		4.7		8.1			
	代金	全回収の悪化	0.0		1.8		2.0		0.0		2.3		0.0		2.3		2.7			
	地值	面の高騰	2.9		0.0		2.0		0.0		4.7		4.5		4.7		0.0			
	駐車	■場の確保難	0.0		0.0		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0		0.0			
	天信	その不順	17.1		14.5		10.0		9.5		7.0		9.1		18.6		10.8			
	地均	景産業の衰退	0.0		1.8		0.0		4.8		0.0		0.0		2.3		0.0			
	大手	企業・工場の縮小・撤退	0.0		1.8		2.0		0.0		2.3		2.3		0.0		2.7			
	そ0		34.3		18.2		8.0		7.1		9.3		20.5		16.3		5.4			
			2.9		1.8		2.0		2.4		0.0		0.0		0.0		0.0			
		前えを改善する	14.7		25.5		28.6		31.7		26.2		34.0		25.6		26.3			
		を節減する	70.6 17.6		54.5		67.3		73.2		54.8 23.8		53.2 29.8		48.8		60.5			
		い事業を始める	17.6 2.9		23.6 16.4		22.4		19.5		21.4		29.8		23.3 16.3		23.7 15.8			
		い事業を始める ・設備を改装する	11.8		9.1		10.2		9.8		14.3		14.9		9.3		15.8			
		、	11.8		14.5		8.2		4.9		4.8		17.0		20.9		28.9			
重点		美時間を延長する	2.9		1.8		2.0		2.4		14.3		4.3		7.0		5.3			
経営		ι筋商品を取扱う	17.6		21.8		24.5		14.6		14.3		23.4		14.0		15.8			
施策	商品	芸街事業を活性化させる	8.8		3.6		6.1		17.1		11.9		6.4		2.3		2.6			
~	機材	成化を推進する	0.0		1.8		4.1		2.4		0.0		6.4		4.7		5.3			
% _	人村	すを確保する しょうしょ	20.6		7.3		12.2		9.8		11.9		8.5		16.3		26.3			
	パー	-ト化を図る	8.8		5.5		4.1		4.9		9.5		4.3		2.3		2.6			
	教育	育訓練を強化する	8.8		3.6		8.2		7.3		9.5		4.3		7.0		2.6			
Ī	輸力	(品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		0.0		2.6			
	不重	加産の有効活用を図る	5.9		9.1		2.0		0.0		4.8		2.1		0.0		5.3			
)他	0.0		7.3		0.0		7.3		2.4		4.3		0.0		0.0			
H		こなし	11.8		10.9		10.2		7.3		2.4		6.4		9.3		5.3			
有效	回答	事業所数		37		64		72		58		70		62		63		68		

地域名:品川区 中分類:業種合計

項目	調査期	R 1~3		R 4∼6		R 7∼9		R 10~1		R 1∼3		F 4∼6	3 月期	R 7∼9	3 月期		R3 2月期	対前期比	R4 1~3月期
	良い	2.1	12.3	6.3	2.1	7.0	8.9	4.1	4.2	8.2	2.7	12.3	4.1	14.5	8.8	18.9	14.7	1,,,,,,,,	12.3
	普通	31.3	57.5	16.5	27.7	15.5	24.1	23.0	25.0	23.3	29.7	16.0	28.8	23.2	31.3	29.7	26.5		41.1
業	悪い	66.7	30.1	77.2	70.2	77.5	67.1	73.0	70.8	68.5	67.6	71.6	67.1	62.3	60.0	51.4	58.8		46.6
況	D•I	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1	-70.4	-58.2	-68.9	-66.7	-60.3	-64.9	-59.3	-63.0	-47.8	-51.3	-32.4	-44.1		-34.2
	修正值	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-68.3	-53.4	-69.8	-66.5	-59.5	-65.8	-56.8	-60.6	-45.7	-48.7	-35.4	-44.2	10.0	-38.2
	傾向値	-20.3		-33.5		-47.9		-62.0		-68.2		-66.2		-61.9		-54.5			
	増加	4.3	11.3	8.9	8.5	20.8	21.8	16.2	14.1	11.0	5.4	19.8	12.3	15.9	22.5	31.1	14.7		16.2
	変らず	27.7	46.5	15.2	19.1	22.2	25.6	24.3	39.4	31.5	33.8	19.8	37.0	26.1	32.5	28.4	36.8		43.2
売上	減少	68.1	42.3	75.9	72.3	56.9	52.6	59.5	46.5	57.5	60.8	60.5	50.7	58.0	45.0	40.5	48.5		40.5
額	D•I	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8	-36.1	-30.8	-43.2	-32.4	-46.6	-55.4	-40.7	-38.4	-42.0	-22.5	-9.5	-33.8		-24.3
	修正值	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-34.2	-29.3	-47.6	-35.1	-41.6	-52.2	-38.3	-36.6	-38.6	-23.5	-20.7	-35.2	18.0	-20.6
	傾向値	-26.3		-39.2		-46.2		-49.2		-50.4		-45.0		-42.4		-38.9			
	増加	10.4	11.3	8.9	10.4	16.7	16.7	16.2	15.5	8.2	8.1	14.8	9.6	15.9	20.0	25.7	11.8		13.5
	変らず	25.0	54.9	13.9	16.7	22.2	26.9	24.3	36.6	32.9	36.5	23.5	38.4	27.5	33.8	32.4	39.7		44.6
収益	減少	64.6	33.8	77.2	72.9	61.1	56.4	59.5	47.9	58.9	55.4	61.7	52.1	56.5	46.3	41.9	48.5		41.9
無	D•I	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5	-44.4	-39.7	-43.2	-32.4	-50.7	-47.3	-46.9	-42.5	-40.6	-26.3	-16.2	-36.8		-28.4
	修正值	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-43.2	-39.7	-47.2	-34.5	-48.5	-46.0	-42.3	-38.2	-38.4	-27.6	-26.3	-37.5	12.0	-28.3
_	傾向値	-26.2		-36.9		-44.6		-49.2		-52.1		-49.0		-45.8		-42.0			
	料金価格	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0	-16.9	-21.3	-17.8	-20.0	-12.3	-19.2	-11.3	-4.1	-4.4	-5.1	-2.7	3.0		-1.4
価	〃 修正値	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-15.3	-20.0	-18.2	-19.9	-13.2	-18.1	-10.1	-5.1	-4.1	-4.5	-4.3	0.5	0.0	-1.2
格動	〃 傾向値	-3.8		-9.0		-13.6		-17.0		-18.0		-16.0		-13.0		-9.6			
向	材料価格	19.6	16.7	9.5	10.9	0.0	2.7	4.2	0.0	12.5	4.2	14.3	13.9	16.2	15.8	25.0	17.9		22.2
	〃 修正値	20.7	17.8	10.6	11.9	2.9	5.1	5.5	2.0	10.3	4.2	13.4	12.3	19.4	16.3	24.3	19.3	5.0	20.4
	〃 傾向値	24.4		20.4		14.6		9.8		7.4		7.1		9.8		14.4			
在庫	資金繰り	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7	-33.8	-41.8	-32.4	-38.6	-32.9	-32.4	-28.4	-31.5	-21.7	-21.3	-12.2	-20.6		-20.3
資	〃 修正値	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-33.6	-37.7	-34.0	-38.2	-30.4	-35.3	-24.9	-29.1	-23.3	-18.9	-16.1	-20.8	7.0	-23.9
金繰り																			
前年同	売上額	-56.5		-62.5		-53.3		-50.0		-43.8		-12.5		-26.9		-11.6			
期比	収益	-63.8		-68.1		-56.7		-48.4		-45.3		-20.0		-19.7		-13.0			
雇用	残業時間	-35.4	-16.4	-57.5		-26.7	-38.4	-35.5	-22.0	-25.0	-33.9	-28.8			-17.7				-10.1
\vdash	人手	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0	-16.4	-15.3	-21.3	-21.7	-25.0	-19.7	-27.5	-21.9	-37.7	-26.6	-49.3	-36.2		-49.3
λ	借入難易度	-8.7		1.4		-9.8		-5.1		-1.6		1.3		1.5		9.1			
金	借入をした(%)	26.1	9.3	40.6	20.9	32.3	23.9	37.1	16.9	34.4	12.5	31.6	20.7	28.4	8.1	22.1	10.8		7.7
	借入をしない(%)	73.9	90.7	59.4	79.1	67.7	76.1	62.9	83.1	65.6	87.5	68.4		71.6	91.9	77.9	_		92.3
有効	回答事業所数		48		79		72		74		74		81		69		75		

地域名:品川区

中分類:業種合計

т Т Б	_	調査期	R	_	R 4~6	_	R 7 ∼ 9			2	R 1~3		F 4∼6	3	R 7∼9			3	対	R4
項目		生の設備	1~3							2月期									前期比	
		もした	-6.3	-22.2	-4.3	0.0	-5.2	-4.3	-8.2	-5.3	-10.9	-9.8	-9.0	-15.6	-2.9	-7.8	-16.2	-1.5		-16.2
設	240		37.0	35.8	31.0	23.3	25.0	20.9	26.7	17.5	34.4	22.4	24.4	35.5	28.8	25.7	27.9	25.8		31.3
備投		事業用地・建物	0.0	1.9	2.8	2.3	3.3	6.0	3.3	1.8	4.7	5.2	0.0	6.5	1.5	4.1	1.5	1.5		6.0
資動	投	機械・設備の新・増設	15.2	13.2	11.3	7.0	13.3	6.0	3.3	7.0	7.8	3.4	3.8	3.2	4.5	6.8	4.4	1.5		10.4
向	資 内	機械・設備の更改	13.0	9.4	8.5	7.0	8.3	7.5	10.0	5.3	10.9	13.8	6.4	16.1	10.6	8.1	11.8	15.2		13.4
%	容	事務機器	8.7	11.3	9.9	7.0	8.3	6.0	8.3	5.3	9.4	5.2	10.3	8.1	12.1	10.8	10.3	7.6		9.0
\sim		車両	19.6	15.1	9.9	9.3	10.0	10.4	13.3	10.5	15.6	5.2	16.7	16.1	16.7	13.5	14.7	12.1		11.9
	実力	その他 もしない	63.0	1.9 64.2	1.4 69.0	76.7	75.0	79.1	73.3	0.0 82.5	1.6 65.6	77.6	75.6	3.2 64.5	71.2	74.3	72.1	74.2		1.5 68.7
				04.2		70.7		79.1	62.3	02.3		77.0		04.5		74.3		74.2		00.7
		上の停滞・減少	60.4 47.9		65.7 22.9		67.2 31.1		34.4		58.7 34.9		60.3 30.8		58.2 32.8		51.5 42.6			
		手不足																		
		業者間の競争の激化	10.4		15.7		14.8		16.4		12.7		15.4		29.9		22.1			
		手企業との競争の激化	4.2		2.9		1.6		1.6		3.2		2.6		3.0		4.4			
		里化の不足	2.1		20.0		4.9		8.2		7.9		9.0		4.5 10.4		2.9			
		富の縮小	0.0		1.4		19.7 1.6		18.0		0.0		14.1 2.6		3.0		16.2 0.0			
		及事務の陳腐化 は 毎 な	8.3		1.4		1.6		4.9		7.9		7.7		13.4		11.8			
		料価格の上昇 金の値下げ要請	6.3		2.9		3.3		4.9		3.2		3.8		4.5		2.9			
			27.1		20.0		19.7		19.7		25.4		20.5		25.4		29.4			
経営		牛費の増加	10.4		7.1		3.3		8.2		9.5		5.1		7.5		29.4			
上の		牛費以外の経費の増加 **+のエロ	10.4		10.0		4.9		11.5		7.9		12.8							
問		析力の不足	10.4		7.1		13.1		13.1		17.5		12.8		11.9		19.1 14.7			
題点		引先の減少	0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		1.3		3.0		2.9			
~ %		圏人口の減少	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5			
\sim		画の高騰 ちゅうな (2 ##	2.1		2.9		1.6		3.3		4.8		0.0		3.0		0.0			
		事場の確保難	4.2		7.1		3.3		1.6		4.8		5.1				5.9			
		id・設備の狭小・老朽化 金回収の悪化	2.1		0.0		1.6		1.6		1.6		1.3		4.5 1.5		2.9			
			4.2		8.6		0.0		3.3		1.6		2.6		4.5		2.9			
		<u></u> 景産業の衰退	0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		0.0		0.0		0.0			
			0.0		0.0		3.3		4.9		1.6		0.0		0.0		2.9			
	ДЭ	- 正来 · 工场の細小 · 放这	0.0		0.0		0.0		4.5		1.0		0.0		0.0		2.3			
	そ 0	D他	8.3		11.4		6.6		4.9		6.3		9.0		6.0		4.4			
		頃なし	4.2		1.4		1.6		3.3		3.2		2.6		3.0		2.9			
		各を広げる	42.6		37.0		44.1		36.2		44.4		37.2		45.6		39.7			
		費を節減する	44.7		49.3		55.9		48.3		41.3		44.9		33.8		36.8			
		云・広告を強化する	14.9		12.3		8.5		8.6		9.5		9.0		17.6		16.2			
		い事業を始める	14.9		12.3		20.3		15.5		15.9		19.2		22.1		23.5			
		浦・設備を改装する	2.1		4.1		1.7		3.4		6.3		3.8		4.4		5.9			
[_		隽先を見つける	6.4		6.8		5.1		12.1		6.3		6.4		7.4		8.8			
重点		有力を強化する	21.3		17.8		15.3		17.2		20.6		17.9		20.6		20.6			
経営		戒化を促進する	0.0		4.1		1.7		1.7		4.8		3.8		2.9		4.4			
施策		オを確保する	48.9		35.6		32.2		32.8		39.7		35.9		44.1		41.2			
~	/パー	-ト化を図る	4.3		2.7		0.0		1.7		3.2		3.8		0.0		2.9			
% _	教育	育訓練を強化する	14.9		13.7		13.6		15.5		14.3		19.2		13.2		14.7			
	労債	動条件を改善する	6.4		9.6		13.6		8.6		9.5		11.5		2.9		13.2			
	不重	助産の有効活用を図る	0.0		4.1		3.4		3.4		3.2		1.3		2.9		4.4			
Ī																				
	その	D他	2.1		9.6		1.7		5.2		1.6		1.3		2.9		2.9			
	特に	こなし	6.4		2.7		3.4		3.4		3.2		5.1		5.9		1.5			
有效	回答	F事業所数		48		79		72		74		74		81		69		75		

地域名:品川区 中分類:業種合計

	-m -t +n																		
項目	調査期	R 1∼3		R 4∼6		R 7 ∼ 9		R 10~1		R 1∼3		F 4∼6		R 7 ∼ 9		R 10∼1		対 前期比	R4 1~3月期
	良い	18.5	14.5	2.2	6.3	2.5	3.2	3.9	12.7	9.3	6.5	8.6	8.1	12.7	12.0	18.9	10.1		14.9
	普通	36.9	49.3	22.6	29.7	26.6	17.2	37.7	27.8	36.0	39.0	29.0	39.2	24.1	22.8	33.8	35.4		40.5
業	悪い	44.6	36.2	75.3	64.1	70.9	79.6	58.4	59.5	54.7	54.5	62.4	52.7	63.3	65.2	47.3	54.4		44.6
況	D∙I	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8	-68.4	-76.3	-54.5	-46.8	-45.3	-48.1	-53.8	-44.6	-50.6	-53.3	-28.4	-44.3		-29.7
	修正値	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-63.2	-73.5	-58.0	-49.0	-51.2	-52.0	-42.4	-37.3	-43.7	-46.4	-35.6	-47.5	8.0	-37.0
	傾向値	-18.1		-25.3		-37.6		-49.8		-57.9		-57.9		-53.3		-47.8			
	増加	21.5	25.7	7.5	9.4	13.9	14.0	15.6	29.1	17.1	16.9	11.8	14.9	17.7	18.5	28.4	17.7		20.3
	変らず	26.2	40.0	15.1	21.9	22.8	17.2	35.1	16.5	35.5	32.5	25.8	27.0	21.5	27.2	25.7	30.4		31.1
売上	減少	52.3	34.3	77.4	68.8	63.3	68.8	49.4	54.4	47.4	50.6	62.4	58.1	60.8	54.3	45.9	51.9		48.6
**	D∙I	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4	-49.4	-54.8	-33.8	-25.3	-30.3	-33.8	-50.5	-43.2	-43.0	-35.9	-17.6	-34.2		-28.4
	修正值	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-45.9	-54.9	-41.5	-35.7	-37.9	-36.8	-31.5	-22.2	-39.4	-35.1	-29.8	-43.9	10.0	-33.7
	傾向値	-20.4		-28.6		-36.9		-43.3		-45.9		-43.4		-40.2		-37.4			
	増加	14.1	17.4	4.3	6.3	6.3	14.3	7.8	26.6	14.5	14.3	8.7	13.5	18.2	12.2	24.7	15.6		13.7
	変らず	43.8	37.7	22.8	33.3	35.4	23.1	53.2	24.1	38.2	41.6	38.0	35.1	33.8	34.4	37.0	44.2		43.8
受注	減少	42.2	44.9	72.8	60.3	58.2	62.6	39.0	49.4	47.4	44.2	53.3	51.4	48.1	53.3	38.4	40.3		42.5
735	D∙I	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0	-51.9	-48.4	-31.2	-22.8	-32.9	-29.9	-44.6	-37.8	-29.9	-41.1	-13.7	-24.7		-28.8
	修正值	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-48.8	-49.2	-40.4	-30.4	-34.3	-32.1	-33.7	-23.0	-27.0	-40.7	-26.4	-32.9	1.0	-31.8
	傾向値	-24.2		-29.8		-38.1		-43.1		-45.5		-43.1		-37.4		-32.4			
	増加	26.6	24.6	5.4	9.5	11.8	14.3	14.3	28.9	20.3	14.5	9.9	13.5	17.9	20.9	23.3	21.8		19.2
<u></u>	変らず	26.6	31.9	14.1	25.4	25.0	17.6	40.3	18.4	37.8	32.9	26.4	25.7	21.8	27.5	35.6	28.2		32.9
施工	減少	46.9	43.5	80.4	65.1	63.2	68.1	45.5	52.6	41.9	52.6	63.7	60.8	60.3	51.6	41.1	50.0		47.9
高	D∙I	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6	-51.3	-53.8	-31.2	-23.7	-21.6	-38.2	-53.8	-47.3	-42.3	-30.8	-17.8	-28.2		-28.8
	修正値	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-47.3	-53.5	-40.6	-33.0	-32.3	-41.2	-35.5	-29.6	-36.7	-30.8	-30.7	-37.5	6.0	-32.7
	傾向値	-21.0		-28.5		-36.7		-42.2		-44.6		-42.1		-38.4		-35.6			
	増加	18.5	14.3	6.5	6.3	7.6	14.0	9.1	20.3	18.4	10.4	6.5	12.0	16.7	17.4	23.0	15.4		16.2
	変らず	29.2	45.7	17.2	26.6	30.4	14.0	40.3	27.8	32.9	36.4	31.2	29.3	26.9	28.3	33.8	34.6		33.8
収益	減少	52.3	40.0	76.3	67.2	62.0	72.0	50.6	51.9	48.7	53.2	62.4	58.7	56.4	54.3	43.2	50.0		50.0
11111	D∙I	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9	-54.4	-58.1	-41.6	-31.6	-30.3	-42.9	-55.9	-46.7	-39.7	-37.0	-20.3	-34.6		-33.8
	修正值	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-50.8	-56.9	-50.1	-40.2	-36.1	-46.0	-40.9	-30.3	-35.5	-35.4	-34.2	-43.5	1.0	-37.9
	傾向値	-28.7		-33.7		-40.2		-46.5		-49.5		-47.3		-43.7		-39.2			
	請負価格	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1	-41.8	-44.1	-28.6	-27.8	-27.6	-27.3	-23.7	-32.0	-28.2	-31.5	-28.4	-29.9		-24.3
	"修正值		-24.2			-37.9			-29.7		-30.9		-25.8			-32.7		-9.0	-28.0
価格	" 傾向値	-18.9	27.2	-24.5	02.0	-31.3	71.0	-35.2	20.7	-36.5	00.0	-33.6	20.0	-28.7	20.1	-27.0	02.7	0.0	20.0
動	材料価格	37.7	38.8	19.1	35.0	18.7	21.6	16.0	16.0	20.3	16.0	34.4	23.3	37.3	37.1	58.3	38.7		58.3
[H]	"修正值	38.6	38.6	23.0	35.9	18.6	26.2	17.2	16.2	18.5	16.3	34.2	21.5	33.6	37.0	54.6	35.6	21.0	53.8
	"傾向値	44.5	2,0	41.0	27.0	34.0		26.6	2,2	20.7	,,,,	20.4		24.7		32.3	2,10		
在庫	原材料在庫数量	-4.9	-1.5	1.1	-8.3	9.5	-2.3	5.4	6.8	-2.7	5.4	5.6	-5.6	5.3	2.3	-7.0	1.3		-7.0
~	"修正值	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	7.1	0.4	3.7	5.2	0.0	3.9	6.8	-4.8	3.4	4.4	-7.1	-0.1	-11.0	-7.1
資金	資金繰り	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9	-25.6	-41.3	-25.0	-30.8	-21.1	-23.7	-30.1	-22.7	-27.8	-26.1	-29.7	-34.2		-28.4
繰り	〃 修正値	-26.1	-20.0		-31.5		-39.9	-24.3	-34.3	-20.9	-24.0	-26.2	-18.4	-29.4	-22.9	-28.5	-36.8	1.0	-29.1
前年	売上額	-18.5		-69.9		-71.8		-52.6		-40.9		-40.2		-38.0		-29.7			
同	収益	-27.7		-69.9		-70.5		-55.3		-38.8		-49.5		-43.0		-37.8			
期比																			
	残業時間	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7	-32.5	-47.8	-27.3	-23.4	-20.6	-22.1	-26.9	-29.9	-25.3	-19.6	-13.5	-19.0		-21.6
用	人手	-50.8	-48.5	2.2	-31.7	-12.8	-5.5	-27.3	-30.8	-30.9	-31.2	-25.8	-20.6	-25.3	-30.4	-36.5	-32.9		-37.8
借	借入難易度	-13.3		2.3		2.9		4.1		-6.0		-3.4		-5.3		-8.2			
- 2	借入をした(%)	31.1	25.4	33.7	20.3	37.7	35.3	30.7	18.3	34.3	13.3	36.3	25.0	31.2	17.2	35.6	21.9		22.9
並	借入をしない(%)	68.9	74.6	66.3	79.7	62.3	64.7	69.3	81.7	65.7	86.7	63.7	75.0	68.8	82.8	64.4	78.1		77.1
有効	回答事業所数		65		93		79		77		76		93		79		74		

地域名:品川区

中分類:業種合計

項目	調査期	R 1~3	_	R 4~6	_	R 7∼9			2 2月期	R 1~3		R 4∼6	3	R 7∼9	3		3	対	R4 1~3月期
児は	現在の設備	-6.3																削期比	
	実施した	35.2	-1.6 28.1	-6.7 32.9	-1.6 32.1	-3.9 31.1	-9.0 22.9	-6.8 35.1	-1.3 26.0	-10.4 36.4	-6.8 36.1	-13.6 23.5	-7.5 24.2	-11.8 26.4	-16.1 18.4	-11.3 31.4	-13.2 26.8		-14.1 28.4
設備	事業用地・建物	1.9	6.3	3.5	1.9	4.1	3.6	4.1	4.1	3.0	2.8	3.5	1.5	1.4	3.4	4.3	4.2		3.0
投	機械・設備の新・増設	5.6	4.7	10.6	3.8	8.1	7.2	6.8	8.2	9.1	6.9	4.7	6.1	4.2	4.6	5.7	1.4		4.5
資動	投	9.3	4.7	3.5	3.8	6.8	4.8	6.8	5.5	6.1	9.7	2.4	4.5	2.8	4.6	5.7	7.0		6.0
向	内	24.1	17.2	18.8	18.9	13.5	10.8	24.3	15.1	24.2	23.6	11.8	12.1	13.9	10.3	15.7	11.3		14.9
%	容事務機器車両	18.5	12.5	16.5	15.1	20.3	8.4	18.9	12.3	15.2	18.1	11.8	15.2	16.7	4.6	11.4	14.1		11.9
	その他	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	3.0	1.4	1.2	0.0	1.4	1.1	1.4	1.4		0.0
	実施しない	64.8	71.9	67.1	67.9	68.9	77.1	64.9	74.0	63.6	63.9	76.5	75.8	73.6	81.6	68.6	73.2		71.6
	売上の停滞・減少	45.9		67.0		57.7		52.0		44.8		53.8		47.4		45.9			
	人手不足	39.3		31.9		30.8		33.3		35.8		31.9		43.4		35.1			
	大手企業との競争の激化	6.6		3.3		3.8		5.3		3.0		1.1		2.6		1.4			
	同業者間の競争の激化	9.8		17.6		17.9		10.7		16.4		15.4		11.8		14.9			
	親企業による選別の強化	0.0		0.0		5.1		2.7		1.5		1.1		1.3		1.4			
	合理化の不足	3.3		4.4		2.6		2.7		6.0		6.6		2.6		4.1			
	利幅の縮小	26.2		33.0		29.5		30.7		29.9		38.5		25.0		24.3			
	材料価格の上昇	13.1		7.7		10.3		9.3		10.4		17.6		23.7		47.3			
	下請の確保難	31.1		19.8		21.8		21.3		25.4		12.1		13.2		25.7			
経	駐車場・資材置場の確保難	1.6		5.5		5.1		8.0		6.0		6.6		2.6		5.4			
営上	人件費の増加	23.0		13.2		11.5		12.0		17.9		11.0		14.5		12.2			
の	人件費以外の経費の増加	13.1		9.9		6.4		12.0		9.0		5.5		6.6		9.5			
問題	技術力の不足	4.9		8.8		12.8		18.7		13.4		6.6		9.2		16.2			
点	代金回収の悪化	0.0		1.1		0.0		1.3		0.0		2.2		0.0		0.0			
%	天候の不順	0.0		2.2		7.7		1.3		0.0		7.7		7.9		1.4			
	地場産業の衰退	3.3		0.0		1.3		0.0		0.0		2.2		2.6		1.4			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.6		1.1		2.6		0.0		1.5		0.0		0.0		0.0			
	その他	9.8		3.3		5.1		0.0		6.0		1.1		6.6		4.1			
	問題なし	6.6		6.6		6.4		8.0		4.5		5.5		5.3		1.4			
	販路を広げる	32.8		28.9		29.5		35.5		40.3		38.5		26.0		33.8			
	経費を節減する	37.5		37.8		48.7		39.5		29.9		38.5		33.8		40.5			
	情報力を強化する	17.2		27.8		29.5		23.7		19.4		25.3		24.7		20.3			
	新しい工法を導入する	4.7		4.4		6.4		5.3		6.0		2.2		5.2		6.8			
	新しい事業を始める	1.6		11.1		3.8		11.8		6.0		7.7		3.9		5.4			
重	技術力を高める	25.0		35.6		38.5		35.5		38.8		30.8		23.4		39.2			
点経	人材を確保する	48.4		38.9		43.6		39.5		46.3		39.6		45.5		47.3			
営施	パート化を図る	1.6		0.0		1.3		1.3		0.0		1.1		1.3		0.0			
策(教育訓練を強化する	14.1		15.6		11.5		10.5		16.4		9.9		10.4		9.5			
%	労働条件を改善する	17.2		13.3		12.8 2.6		11.8 2.6		13.4		3.3		9.1		16.2			
	不動産の有効活用を図る	1.6		۷.۷		2.0		2.0		4.5		3.3		3.9		1.4			
	その他	3.1		0.0		0.0		1.3		1.5		0.0		0.0		0.0			
	特になし	15.6		8.9		10.3		10.5		6.0		9.9		9.1		8.1			
有効	回答事業所数		65		93		79		77		76		93		79		74		

調査の概要

- 1. 調 査 時 期 令和3年10~12月期
- 2. 調 査 方 法 郵送アンケート調査
- 3. 調査の対象と回収状況

					調査対象事業所数	有効回答事業所数
製		造		業	102	73
卸		売		業	102	80
小		売		業	102	68
サ	_	ビ	ス	業	102	75
建		設		業	102	74
合				計	510	370